

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2019	57号	57-20		2020国際ツバキ会議五島大会・第30回全国椿サミット五島大会へのご
1981	20号	20-27	全	次号原稿募集要項。 編集後記。
2008	47号	47-2	(理事会)	法人化問題について (当協会)
1984	23号	23-23	(全 ●必読)	これからの新花の国際登録
1974	13号	13-2	会長 石川 清	日本ツバキ協会の対外活動
1984	23号	23-24	全	日本ツバキ協会・会則。(会員名簿)
1991	30号	30-30	全	当協会1999年度活動報告
1965	5号	5-15	全	トウツバキ。 編集後記。
1979	18号	18-20	(一)上田敏朗(二) Mfs・キ ィ・アッカーマン	1978年の国際ツバキ協会と米国ツバキ協会との連合大会に出席して (訳 入山謙三、田島みえ子)
2008	47号	47-1	(小林政紘)	【ウィリアムシーの一種】 画
1979	18号	18-23	(新品種登録) 横山三郎	椿 雑 談・十 ツバキの新品種と命名の問題など
1962	2号	2-17	(石津・幹事)	36年の経過報告
1970	8号	8-17	(編集部 会員日より)	外国の図説に現われた
1978	17号	17-30	(編集部) 長岡成男	1977年度・協会事業報告。 編集後記
2001	40号	40-44	【急告】 事務局	本部事務所の開設とその事務処理について
2001	40号	40-45	【急告】 事務局	当協会2001年度通常総会 報告
2001	40号	40-46	【急告】 事務局 会員必	会誌 JCに関する投稿規定のお知らせ
1972	11号	11-6	(松平 記)	昭和年年度夏期講習会
1972	11号	11-10	(編集子)	童子ツバキと咲かずのツバキの紹介
1973	12号	12-3	※ 6名位もの	会員秘蔵の新花紹介 (33品種)
1972	11号	11-18	※桐野 秋豊	春サザンカ品種群について
1971	10号	10-2	※仲村訥郎	早咲き群 多種/提供もの
1973	12号	12-6	※仲村訥郎	実生の試み
1976	15号	15-17	※仲村訥郎	花壇綱目 試図
1970	9号	9-7	※仲村訥郎	品種名統一のために (品種登録 必読)
1973	12号	12-12	▲中村恒雄	茨城県の巨木ツバキ視察記
2000	39号	39-20	▲中村恒雄	イタリアのツバキ
1964	4号	4-1	▲中村恒雄	【荒獅子】 解説 随筆 ※借物文献会誌渡辺氏から
1964	4号	4-5	▲中村恒雄	ツバキ繚(瞭)乱、昭和侘介、弁天、太郎庵、眉間尺、大虹、▼勇 獅子、白牡丹、拵筆、花目車、日暮し、 江戸後期品種について
2005	44号	44-5	▲中村恒雄	江戸後期品種について
1969	7号	7-18	▲中村恒雄	椿伊呂波名寄せ附について (文献紹介)
1970	8号	8-5	▲中村恒雄	ツバキの繁殖法 (上)
1970	9号	9-4	▲中村恒雄	ツバキの繁殖法 (中)
2013	51号	51-29	B.キング	ジベレリン酸とは何か
2013	51号	51-30	Cao Jiyinほか	アザレア椿を親とする中国の新しい交配種
2008	47号	47-27	ICS	2009年カナダツバキ探訪へのお誘い
1994	33号	33-32	L・アッカーマン	「接木キメラ」による黄色椿の実現は可能か
1999	38号	38-7	ウヰヌ・ケグ	宮崎観光ホテルでのICS大会
1983	22号	22-15	いわき節人	椿盆栽の変遷
1963	3号	3-18	ウヰトリッヒ秀	花と動物と私
1994	33号	33-43	エリック・クレイグ	長友貞蔵さんを悼んで
1994	33号	33-6	エリック・クレイグ	宮崎市の驚嘆すべて「椿山森林公園」
1991	30号	30-5	エリック・クレイグ*	ツバキを通して全世界に友情を築く
2010	49号	49-7	カオ・チイイン ほか	中国のアザレアツバキに次の発見された"周年開花"の黄色い椿 国際ツバキ会議久留米大会にて 2010年
2000	39号	39-2	カラー口絵	19世紀欧州 椿図譜 抜粋
2000	39号	39-3	カラー口絵	ガイ市文化会館庭園のツバキ
2004	43号	43-8	ゲレグ デーグイ	ICS 会長より祝電 国際ツバキ協会会長
2002	41号	41-6	ジェームス・ボナ	気候とツバキの開花
2018	56号	56-24	ジェニハー・トレハーン/ 訳赤木善弘	大島の椿たち
2006	45号	45-4	スペイン椿協会誌より	安達瞳子女史への追悼文
1989	28号	28-12	チャールズ・ジェンキンス	フランクリンの木の歴史的背景 (必読)
2009	48号	48-5	ツバキ図鑑編集委員会	「最新日本ツバキ図鑑」について
2019	57号	57-10	ながさき県中央椿愛好会/協 賛花芸安達流長崎県支部諫 早地区	自慢の椿盆栽
2010	49号	49-8	ハーブ・ショート	日本のツバキ：如何にして西欧の心を魅了したか
1984	23号	23-19	ハロルド・フレイザ、 佐藤洋司・訳	中国にジャポニカを求めて
1999	38号	38-8	プラチ・リッペン	ICS 宮崎大会のフレ&ホースター
1965	5号	5-6	ヘレン・コールマン	日本のツバキ界ひとのぞき

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2010	49号	49-6	マティン・F・ストーナ	素晴らしい思い出久留米コンGRESと日本の旅
2008	47号	47-14	マーク・デ・コーニック	ベルギーと日本を結ぶツバキの絆
2020	58号	58-10	みなみらんぼう	世界に一本しかない椿
1975	14号	14-6	阿部 滋	私の作った種間雑種の実生苗
1976	15号	15-26	阿部 滋	アメリカツバキの最新品種紹介
1976	15号	15-6	阿部 滋	私の作った種間雑種(二)
1977	16号	16-10	阿部 滋	私の作った 種間雑種(その3)
1978	17号	17-12	阿部 滋	私の作った種間雑種のその後と反省
1979	18号	18-12	阿部 滋	新しい育種の試し (続)
1981	20号	20-9	阿部 滋	育種 雑考
1984	23号	23-5	阿部 滋	育種雑考
1985	24号	24-9	阿部 滋	育種雑考
2018	56号	56-22	芦川勝	氷見に古木椿を訪ねて
1993	32号	32-26	芦沢昭三	第4回全国椿サミット伊東大会の開催について
2013	51号	51-19	鯉本琢吾	椿と薔薇
1992	31号	31-30	安治・小橋	鳥取椿の会
2000	39号	39-13	安西俊夫	ポルトガル・ツバキ旅行に参加して
1991	30号	30-10	安達潮花	「悲願椿百万本」
1991	30号	30-2	安達瞳子	ごあいさつ「日本ツバキ協会」会長就任にさいして
1992	31号	31-2	安達瞳子	「日本ツバキ協会」40周年を迎えて
1993	32号	32-2	安達瞳子	雪 (巻頭言)
1994	33号	33-2	安達瞳子	椿と緑化 (会長) (巻頭言)
1994	33号	33-52	安達瞳子	謝 辞
1995	34号	34-2	安達瞳子	足 元 (会長)
1996	35号	35-2	安達瞳子	椿と鉄 (会長)
1997	36号	36-2	安達瞳子	一人が一人、一人が一本
1998	37号	37-4	安達瞳子	幻の「百椿図」との出会い
1999	38号	38-14	安達瞳子	黒木 長友 津村 萩屋様 方へ (感謝状)
1999	38号	38-5	安達瞳子	椿国際化時代の「日本ツバキ協会」の使命
2000	39号	39-31	安達瞳子	えにしえの椿 (平成11年度の園芸文化賞受賞)
2000	39号	39-4	安達瞳子	21世紀の暮し 私のシュミレーション「椿の家 (巻頭文)
2001	40号	40-2	安達瞳子	『満月』の中の椿 (巻頭文)
2002	41号	41-3	安達瞳子	私の『椿物語』展 (巻頭文)
2003	42号	42-2	安達瞳子	創立50周年を迎えて (会長)
2006	45号	45-19	安達瞳子	ツバキ物語(1964年ICS誌より)
1989	28号	28-7	安田博武	徳島のツバキ探訪
1989	28号	28-8	安田博武	香川県 大窪寺を訪ねて
1992	31号	31-32	安田博武	徳島のツバキ探訪 2
2000	39号	39-10	安田博武	椿油製造工場見学
1973	12号	12-4	安藤芳顕	ツバキの育種をめざす人のために
1979	18号	18-21	安藤芳顕	国際ツバキ大会についてのお知らせ
1986	25号	25-4	安藤芳顕	十七世紀前半におけるツバキの品種名
1989	28号	28-2	安藤芳顕	ケンベルのツバキの記述
1963	3号	3-15	安藤芳顕	よその庭の椿
1992	31号	31-5	安藤芳顕	地錦抄にみる花柄の用語
1994	33号	33-3	安藤芳顕	タイランドに黄色いツバキを求めて 《特集・椿の旅》
1971	10号	10-10	伊勢栄二	ツバキ展の開催期について (二筆啓上)
1971	10号	10-11	伊勢栄二	「菊閉じ」の品種名について
1963	3号	3-20	伊勢栄二	京の椿遍歴
2004	43号	43-7	伊藤英敏	椿を求めてあっちこっち(シドニー編)
2005	44号	44-24	伊藤秀敏	椿を求めてあっちこっちNZ
2012	50号	50-22	伊藤哲朗	吉利正彦様を悼む
2021	59号	59-23	伊藤哲朗	椿カレンダーの縁
1999	38号	38-17	伊藤哲郎	我が家のツバキと栽培の工夫 「ツバキを小さくつくる」
2000	39号	39-16	伊藤哲郎	ドナ・エルシリア・ド・フレイタス・マガラに出会った旅
2001	40号	40-16	伊藤哲郎	ツバキ栽培の常識を検証する
2003	42号	42-7	伊藤哲郎	日本列島南北三千キロを結ぶツバキの縁
2004	43号	43-19	伊藤哲郎	ドイツ・ツバキの旅
2005	44号	44-23	伊藤哲郎	ツバキが結ぶ縁
2006	45号	45-27	伊藤哲郎	オセアニア ツバキの旅
2008	47号	47-24	伊藤哲郎	「日本の女性は、美しい。日本の女性はツバキです」
2015	53号	53-38	伊藤良孝	ツバキ(椿)に恋して
2018	56号	56-23	伊藤良孝	三浦半島のツバキ(三浦乙女)
1999	38号	38-36	伊豆大島	第45回 伊豆大島 椿まつりのご案内
2008	47号	47-3	委員会	第19回全国椿サミット南砺大会実施概要
1979	18号	18-29	井原 皓	第8回 日本椿懇談会の報告 (山陰カリアンクラブ)

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1980	19号	19-9	井原 皓	連理の椿 黄泉の銀花の二股葉について
1981	20号	20-16	井原 皓	幻の椿 「廿原姫」 を尋ねて
1990	29号	29-7	井原 皓	山陰 ・ 椿の頃、中ノ島、小園の春、吹月、
1992	31号	31-17	井原 皓	好きな出雲ツバキ ・ 一点
1993	32号	32-7	井原 皓	松江市とその周辺の椿
2019	57号	57-8	井上一則	肥後椿と盆栽仕立て
1972	11号	11-12	井本長谷親	園芸大辞典ワビスケの誤りに付いて
1972	11号	11-14	井本長谷親	椿展考 挿不考
1975	14号	14-10	井本長谷親	万葉集の椿の歌
1975	14号	14-24	井本長谷親	香川の椿事情、花咲爺と花作りの和尚さん
1976	15号	15-16	井本長谷親	椿の暗黒時代、平安朝「八代集」に椿の歌なし
1977	16号	16-6	井本長谷親	王朝文学に現われた椿 一源氏 栄華物語 催馬楽 続日本記一
1978	17号	17-14	井本長谷親	椿に名付けられた人名の考察(上)
1978	17号	17-9	井本長谷親	鎌倉、室町文学に現われた椿 (金槐和歌集、新古今集、謡曲、尺素従来、造庭秘伝書)
1979	18号	18-13	井本長谷親	椿に名付けられた人名の考察(中)
1980	19号	19-23	井本長谷親	讃岐椿の金花二つ
1981	20号	20-15	井本長谷親	椿に名付けられた人名の考察(下)
1984	23号	23-15	井本長谷親	椿字考 チャンチン説と国字説
1985	24号	24-5	井本長谷親	椿の真の日に友好を計れ
1986	25号	25-13	井本長谷親	再び日中韓の椿交流について
1969	7号	7-10	井本長谷親	台湾ツバキ
1970	9号	9-11	井本長谷親	全国的につばき展を開こう
2010	49号	49-17	一色 宗泉	いま思うこと
2007	46号	46-16	一色泉美	雪椿をたずねて
2014	52号	52-15	一色泉美	ビルの谷間の椿棚
1984	23号	23-11	宇都木勘	私の発見した 千葉県東総・北総のツバキ
1985	24号	24-15	宇都木勘	椿湖岸周辺と下総、上総の椿
1992	31号	31-27	宇都木勘	私と鉢植椿との出会いについて
1980	19号	19-4	雨木若橘	ツバキの挿し木繁殖におけるさし床施肥がさし穂の発根と苗木の生長に及ぼす影響
1982	21号	21-5	雨木若橘、萩屋 薫	三要素の施肥量がツバキ苗木の生育様相と花芽形成に及ぼす影響
1978	17号	17-5	雨木若橘、萩屋 薫	親木の三要素施肥量がツバキのさし木繁殖に及ぼす影響
	創刊号	1-9	永田鋭明	錦葉種20余点を出品(地方だより)
1963	3号	3-6	永田鋭明	ツバキの錦葉
1986	25号	25-15	永田忠博	チャの種間雑種の化学成分
1978	17号	17-17	益子 新	益子町に法幸の椿を訪ねて
1974	13号	13-15	越智 英一郎	椿・随想
2006	45号	45-23	榎木テツ子	椿 メルボルン印象
1977	16号	16-16	塩田 卓	石川県の新品種 「玉抱 キョウホ」 「鈴カ尾」 の紹介
1978	17号	17-22	塩田 卓	椿の里の椿絵葉書
1982	21号	21-17	塩田 卓	最近の石川椿
2017	55号	55-5	塩田 卓	加賀のツバキと活動系譜
2013	51号	51-33	横関丹	油糧植物としての中国椿
1972	11号	11-16	横山三郎	椿雑談 ・ 3 (鋸葉椿 ・ 柵葉椿)
1973	12号	12-13	横山三郎	椿 談義
1973	12号	12-22	横山三郎	編集後記 (事務局より)
1975	14号	14-1	横山三郎	【ハ・ティ・シェ・フィルト・シュ・プ・リム】 解説
1975	14号	14-33	横山三郎	椿 雑談 (初嵐と白玉)
1976	15号	15-28	横山三郎	椿 雑談(7) (韋駄天、田主丸、中部の椿)
1977	16号	16-24	横山三郎	椿 雑談・八 (三妻と呼子鳥)
1978	17号	17-27	横山三郎	椿 雑談・九 「古今要覧稿椿図」について
1978	17号	17-29	横山三郎	日本椿品種目録 (第一次選考) (選考委員会)
1980	19号	19-25	横山三郎	椿雑談 十一 回想のヤブツバキ
1981	20号	20-20	横山三郎	椿雑談 十二 本草図譜(椿図)に関する覚書
1982	21号	21-23	横山三郎	椿雑談・ 椿八木三木附 名寄花形色附名細について
1983	22号	22-2	横山三郎	日本ツバキ協会、 創立三十周年記念に際して
1983	22号	22-23	横山三郎	本草花蒔絵について ※ (必読)
1970	8号	8-9	横山三郎	椿 雑談
1971	10号	10-15	横山三郎	椿 雑談 2 (弁天白玉、 白八重金魚ツバキ、 変り 白玉紋) (柵葉もどき、 七変化ツバキ、 孔雀ツバキ)
1977	16号	16-1	横山三郎	【稲負鳥】カラー写真 解説
1979	18号	18-30	横山氏	日本椿品種目録 (第二次選考、選考委員会)
1980	19号	19-30	横山氏	日本椿品種目録 (第三次選考、選考委員会)

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1994	33号	33-34	横内 茂	キンカチャの学名
1995	34号	34-5	横内 茂	GergeForrestとヤマトウツバキ
1996	35号	35-4	横内 茂	RobertSweetとツバキ属の学名
2001	40号	40-8	横内 茂	ヴェトナム北部でのC.amplnxicaulisの自生状況と形態
2004	43号	43-10	横内 茂	変わり葉ツバキの誕生とその背景
2006	45号	45-7	横内 茂	もう一種のベトナム産 黄花ツバキ (原種)
2012	50号	50-6	横内 茂	大名茶人・上田宗箇と「椿庭」
1983	22号	22-8	岡 清熊	やぶ椿の突然変異について ◆(珍現象葉)
1984	23号	23-7	岡 清熊	再びヤブツバキの突然変異について ◆(珍現象花)
1975	14号	14-13	岡山幸子	私の椿の記
1963	3号	3-12	岡西昌則	ツバキあさり
2006	45号	45-12	岡村善治	「肥後椿盆栽」に魅せられて(講習会報告)
1974	13号	13-5	岡田 喜一	童子椿——花の咲かない銘木
2000	39号	39-9	岡田正大	テレビ史上・初の「ツバキ番組」を
1985	24号	24-3	岡部 誠	生長調節剤スミセブンの ツバキに対する矮化と着蕾効果
1976	15号	15-14	荻須 悟	イタリア椿のはじまり (イタリア椿協会の便り)
1976	15号	15-15	荻須 悟	台湾花卉園芸の近況と椿
2013	51号	51-4	下出清治	ト伴椿ふるさとの願泉寺に帰る
2016	54号	54-5	下村有子	父・山口湛夫の思い出
1972	11号	11-3	加藤 要	百 椿 集
1962	2号	2-3	加藤 要	冬も花いっぱい ツバキの鉢作り
1999	38号	38-24	加藤さかえ	ツバキありて尚自然の美しさ
1977	16号	16-13	加藤美智子	椿花礼賛
1985	24号	24-16	加藤美智子	椿と私
1982	21号	21-15	加納直人	椿の「花正月」
2015	53号	53-18	加茂市商工観光課	雪椿の群生地「加茂山公園」
1994	33号	33-25	嘉野房子	椿の宿 「花つばき」と守り木
1992	31号	31-19	河野時寛	伊予とつばき
1966	6号	6-5	花の文化展	熊坂、スイートハート、 アドルフアンダーソン
2021	59号	59-11	我孫子昌弘	伊豆大島でヤブツバキ300万本となった要因と伊豆大島三園の江戸椿
1972	11号	11-19	会員だより、事務局より。	会員作品の“新花”特集号発刊について
1962	2号	2-6	会員より	アンケート ①栽培されている品種数 ②ほしい品種
1987	26号	26-10	皆川義雄、桐野秋豊	埼玉県川口市安行周辺地域のワビスケ品種の古木調査
2001	40号	40-26	角田葉子	ポタニカル フラバを描く
2015	53号	53-8	角田葉子	ヤブツバキの北限自生地 夏泊を訪ねて
1963	3号	3-7	掛本良徳	椿法螺吹いてみたい
2003	42号	42-5	笠原基知治	ツバキの花の基本構造 花卉と雄蕊の関係
1963	3号	3-21	鎌田宗承	東北に椿の楽園
2012	50号	50-13	甘利幹夫	私とつばき
1979	18号	18-4	関 柱一	椿の環状剥皮、橋芽接ぎ法
2005	44号	44-7	関口和男	江戸椿 数寄屋あれこれ
1978	17号	17-15	館林椿盆栽部	私たちの椿盆栽仕立
1991	30号	30-1	岸川慎一郎	【春香錦】 (春曙紅自然実生) 解説
1991	30号	30-20	岸川慎一郎	江戸中期の椿絵
1992	31号	31-20	岸川慎一郎	草花諸木花銘録
1996	35号	35-7	岸川慎一郎	椿花譜 ・ 絵巻
2000	39号	39-8	岸川慎一郎	ドイツのツバキ ホームページと
2002	41号	41-2	岸川慎一郎	「草木図譜 ・ 椿」 第2巻(1837)
2002	41号	41-5	岸川慎一郎	椿世界で6冊のチャンドラーとWB、ブース著
2004	43号	43-4	岸川慎一郎	西洋椿の文化史 一図譜を辿ってー
2006	45号	45-8	岸川慎一郎	18世紀末～19世紀初頭の英国の椿事情
2007	46号	46-4	岸川慎一郎	園芸雑誌「花卉園芸棚」の椿絵
2008	47号	47-10	岸川慎一郎	携帯電話 iphoneによる椿データ処理など
2013	51号	51-36	岸川慎一郎	椿古文獻年代史
2016	54号	54-13	岸川慎一郎	ケンベルとツンベルグ
2017	55号	55-20	岸川慎一郎	第二次大戦後「海外で発行された椿の名書籍」
2020	58号	58-3	岸川慎一郎	第二次大戦後海外で発行された椿の名書籍
1991	30号	30-19	岸川慎一郎	春曙紅の実生・二つ
2015	53号	53-21	岸川慎一郎、久保輝幸、田中孝幸	古典籍資料から読み取れるツバキの品種分化
2001	40号	40-28	岩永 章	我が愛する島・五島
1994	33号	33-40	岩住巧雄	それでも椿は咲いている
2014	52号	52-21	岩田	大島椿研修記

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2017	55号	55-14	岩田京子	椿とともに、人がきらめき、まちがかがやく、私が住んでいる広島県安芸郡府中町は、椿が「町花」で、つばきバスが走っています
1996	35号	35-15	岩本俊数	万徳寺ヤブ椿の思い出
1997	36号	36-10	岩本俊数	つばきの灰汁について
1996	35号	35-37	季節のたより 編集部	日本ツバキ協会1996年度総会と決算報告。寄贈図書一覧表
2014	52号	52-14	菊池純子	「世界つばき館」落成を記念として「久留米つばきの歩み展」を催す
1973	12号	12-11	吉岡棟一	ベトナムの椿
1974	13号	13-14	吉岡棟一	続・ベトナムの椿
1989	28号	28-6	吉岡棟一	福島のツバキ観音の誕生
1995	34号	34-9	吉岡棟一	椿探ねて外国を歩く
1984	23号	23-8	吉松 茂	笠山のヤブ椿
1994	33号	33-30	吉松 茂	萩の椿 名所めぐり
1996	35号	35-12	吉松 茂	薩・長同盟記念の木キャプテン・ロー
2001	40号	40-17	吉松 茂	唐椿のさし木
1964	4号	4-12	吉川 開	ツバキの挿し箱について
1970	8号	8-13	吉川 開	椿泉荘雑記
1970	9号	9-8	吉川 開	椿菟余談・私のツバキ開眼
2003	42号	42-6	吉川宜宏	新しい植物分類
1983	22号	22-7	吉川和男	フラワー・ガールの子供たち
1984	23号	23-4	吉川和男	カメリア・イラワジエンシスの種間雑種
1985	24号	24-8	吉川和男	グランサムツバキの種間雑種(1)
1987	26号	26-11	吉川和男	気孔並びにその周辺の組織像によるツバキの交雑成果の判定
1990	29号	29-12	吉川和男	葉面の微細構造からみた野生ヤブツバキ×ユキツバキの地域的変異について
1991	30号	30-12	吉川和男	葉面の微細構造からみた野生ヤブツバキとユキツバキの地域的変異に
1994	33号	33-33	吉川和男	ツバキの育種—黄色いツバキと紫色ツバキ
1997	36号	36-7	吉川和男・宜宏	中新世のツバキと現生のツバキ(2)
1998	37号	37-9	吉川和男 宜宏	中新世のツバキと現生のツバキ(3)
1999	38号	38-3	吉川和男、宜宏 P14	金沙江・雅礫江流域のツバキ節原種(ヤロウ)
1999	38号	38-4	吉川和男、宜宏 P20	カメリア・ランケオラータ
1996	35号	35-3	吉川和男、宜宏	中新世のツバキと現生のツバキ(1)
2002	41号	41-7	吉沢杉本横内	ロスマン氏と新種のツバキ
1964	4号	4-21	吉年忠雄	苗の配布について(私の希望)
1982	21号	21-9	吉野 勝	千葉県において発生した銀葉椿について
1983	22号	22-11	吉野 勝	ツバキ及びサザンカの果実に関する調査
1977	16号	16-8	吉野 勝	記号によるツバキコレクションの分類とラベル表示法
1992	31号	31-26	吉利正彦	花の心
1982	21号	21-2	橘逸勢 伊都内親王願文よ	表紙題字：椿：平安朝
1976	15号	15-9	久本俊雄	梵天葉椿について
1993	32号	32-4	宮崎市農林水産課	○宮崎県における椿事情
1971	10号	10-6	宮沢基治	京都のツバキ
1975	14号	14-4	宮沢基治	上総・大原ヤブツバキ探訪
1964	4号	4-19	宮沢文吾	寒地にツバキを植える
1963	3号	3-14	宮田法淳	椿のこころ
1983	22号	22-10	宮田芳男	結実していた長野県地蔵峠のユキツバキ
2000	39号	39-7	宮島郁雄	西日本各地の有楽古木の遺伝的同一性
1974	13号	13-11	宮尾 正	椿と「水やり」
1975	14号	14-15	宮尾 正	新花の紹介
1981	20号	20-24	宮尾 正	新潟県豊栄市秋咲きツバキ展
2010	49号	49-14	宮本典子	ベトナムから椿へ—私のたどった道—
2021	59号	59-9	宮本典子	ベトナムの椿に出会って
2018	56号	56-2	橋村公英	東大寺南院「さざんかつばき」とハルサザンカ「手向山」
1973	12号	12-15	橋本糊治	高知県椿愛好会(全)
1969	7号	7-12	橋本糊治	高知県立五台山公園椿園の其後
1963	3号	3-13	橋本俊平	椿開眼
1988	27号	27-16	玉井虎太郎ほか二名	ツバキの「ジビング」結果報告
1995	34号	34-16	玉置 猛	文学の中の椿小見
1996	35号	35-20	玉置 猛	花木有椿
1998	37号	37-22	玉置 猛	50年たった
1999	38号	38-21	玉置 猛	如是花本抄
1997	36号	36-8	玉置 猛	花色遍歴
1973	12号	12-1	桐野秋豊	【安達】故安達潮花氏コレクション—つ—解説
1973	12号	12-9	桐野秋豊	ツバキの育種—その基礎植物学(第一回花粉とその発芽)
1974	13号	13-9	桐野秋豊	侘助ツバキ群の一品種とあらためて紹介したい二品種
1975	14号	14-23	桐野秋豊	侘助ツバキの新品種—「御代の栄と姫侘助」

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1976	15号	15-13	桐野秋豊	ホウザンツバキと子房の毛
1976	15号	15-2	桐野秋豊	錦魚葉椿の葉の変化
1978	17号	17-23	桐野秋豊	ヒメサザンカ節の類似種(5種)についての比較
1979	18号	18-1	桐野秋豊	【江ノ島 都鳥】 解説
1980	19号	19-1	桐野秋豊	【金花茶】(九大上本様 2008年11月 訃報) 解説
1980	19号	19-26	桐野秋豊	中国の南寧と昆明で観察したツバキ属
1981	20号	20-2	桐野秋豊	【屋久島の野生ツバキ】 解説
1981	20号	20-7	桐野秋豊	金花茶 雑感
1983	22号	22-9	桐野秋豊	北限地のツバキ再訪
1987	26号	26-1	桐野秋豊	【フロスト・プリンセス】(種間雑種) 解説
1988	27号	27-14	桐野秋豊	中国・雲南省の大理市とその周辺のツバキ属
1991	30号	30-7	桐野秋豊	椿を鉢で楽しむために
1994	33号	33-1	桐野秋豊	【ヤブツバキの根】(伊豆大島) 解説
1994	33号	33-5	桐野秋豊	桂林 龍勝周辺のカメリア自生地探訪 1999年の国際大会が楽しみ な
1995	34号	34-7	桐野秋豊	珍種、花香殿は江戸時代にも存在した?(図と解説文記載)
1996	35号	35-35	桐野秋豊	横山三郎さんを悼む
1996	35号	35-5	桐野秋豊	太郎冠者(有楽椿)を考える
1997	36号	36-1	桐野秋豊	【ニュー・ラット・オクラフのツバキ展】 解説
1998	37号	37-1	桐野秋豊	【リンゴツバキ】の花の果実 解説
1998	37号	37-12	桐野秋豊	太郎冠者の“中国輸出”を推理する
1999	38号	38-1	桐野秋豊	大船渡市の【三面椿】 解説
1999	38号	38-12	桐野秋豊	ベトナム北部の黄色ツバキ属 探索記
2000	39号	39-1	桐野秋豊	ポルトガルの最大、最古ヤブツバキ2株 解説
2001	40号	40-29	桐野秋豊	2001年 ベトナムのツバキ探索記
2001	40号	40-37	桐野秋豊	おしどり、お茶博士、淵之上ご夫妻の茶の名著、出版を祝して
2002	41号	41-12	桐野秋豊	日本におけるツバキの花腐れ病
2003	42号	42-12	桐野秋豊	シンクリ椿の考察
2004	43号	43-11	桐野秋豊	熊谷と光明の観察 (第一報)
2006	45号	45-2	桐野秋豊	ツバキ科の二つのゴールドニア ※(ツバキ原種)
2006	45号	45-6	桐野秋豊	アキシラリスとトンキネンシス
2007	46号	46-1	桐野秋豊	【プビコスタ】(ベトナム北部産珍種) 本文P12
2007	46号	46-2	桐野秋豊	「最新日本ツバキ図鑑」の刊行計画について
2007	46号	46-5	桐野秋豊	ベトナム北部に自生する珍種 ・ プビコスタ C、pubicosta カメリア ・ プビコスタ C、pubicosta (x1) 以
2008	47号	47-13	桐野秋豊	おわら風の盆に咲くツバキが欲しい
2009	48号	48-1	桐野秋豊	【正義】 写真:解説
2009	48号	48-7	桐野秋豊	アザレアツバキの雑種づくり
2009	48号	48-8	桐野秋豊	アザレアツバキに関する最近の発表資料
2012	50号	50-4	桐野秋豊	ツバキの花粉の話
1970	9号	9-3	桐野秋豊	伊豆七島 利島のヤブツバキ林
1971	10号	10-7	桐野秋豊	長崎県 五島列島、久賀島のヤブツバキ林 (ニュース)
1985	24号	24-1	桐野秋豊	【カウツツバキ】 怒江山茶 (原種) 解説
2000	39号	39-17	桐野秋豊	ポルトガル最古のヤブツバキについて 日本と海外の発表資料の紹介
2000	39号	39-18	桐野秋豊	私たちはこの目で見たポルトガル最大、最古のツバキ
1992	31号	31-11	巾 昭	遊びの哲学
1975	14号	14-32	金井俊道	ツバキ界のために実現したい夢
2016	54号	54-22	金子雄	高校での椿学
2018	56号	56-9	金子雄	大島高校「椿学」と「椿油」
2019	57号	57-17	金子雄	伊豆大島のツバキと観光振興～観光甲子園2018への挑戦～
2005	44号	44-27	金沢支部	第 一回全国椿サミット金沢大会
2015	53号	53-30	九鬼義英	肥後椿との出会い
1982	21号	21-14	窪田稲雄	タイニープリンセスはよく匂う
2020	58号	58-7	熊谷理慧古	或る日のアトリエ (私と椿との出会い)
2007	46号	46-12	栗原信明	育種のオレ流あれこれ
2012	50号	50-20	栗原信明	ツバキの専門家にされた話
1990	29号	29-10	恵良雅臣	伝承 ・ 筑紫のツバキ
1996	35号	35-34	恵良雅臣	福岡県の椿について
1994	33号	33-10	恵良昌臣	椿いるいる
1987	26号	26-7	溪口早苗	私のゆめ -ジベレリン処理の その後-
1988	27号	27-15	溪口早苗	1988年ジビングの結果報告
1991	30号	30-22	溪口早苗	随想 椿
1992	31号	31-39	溪口早苗	旬の中の山茶花 ・ 椿
1995	34号	34-24	溪口早苗	夏炉冬扇
1996	35号	35-18	溪口早苗	椿 十五

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1997	36号	36-20	溪口早苗	さざんか ・ つばき
1998	37号	37-20	溪口早苗	遠景
1999	38号	38-23	溪口早苗	由都麻都婆岐(斎つ真椿)
2000	39号	39-24	溪口早苗	「椿名」 おもし
2001	40号	40-34	溪口早苗	椿のうた
2002	41号	41-19	溪口早苗	椿のうた
2003	42号	42-10	溪口早苗	横浜こどもの国 椿の森の品種
2009	48号	48-15	溪口早苗	山本三重子さまをお偲びして
1976	15号	15-32	犬童敏明	肥後つばき愛好会発足の真意について
1961	創刊号	1-6	原川虎夫	東北のツバキ便り
1963	3号	3-19	原沢八郎	春遠からず
1995	34号	34-19	古賀逸志	椿との出会い
1996	35号	35-19	古賀逸志	椿の花色考
1987	26号	26-3	古山 清	ツバキ雑記
1969	7号	7-9	古川 開	水郷のツバキ探訪
1969	7号	7-15	古川真古	夏目漱石の椿観
1991	30号	30-13	古要祐慶	鎌倉とその周辺地域に自生するツバキ
1998	37号	37-23	古要祐慶	三浦半島北部のツバキの分布についての一考察
1999	38号	38-12	古要祐慶	ヤブツバキの分布についての一考察
2000	39号	39-30	古要祐慶	ヤブツバキの分布と利用 (1)
2001	40号	40-39	古要祐慶	ヤブツバキの分布と利用 (2)
2002	41号	41-20	古要祐慶	ヤブツバキの分布と利用 (3)
2015	53号	53-15	古澤敦子	「訪春園」
2018	56号	56-5	五島市農林整備課	五島の生活に根差した椿文化と油の活用
1974	13号	13-6	後藤 利幸	ツバキの育種 ・ その基礎植物学 第二回 ・ ツバキの染色体と調査の方法
2019	57号	57-3	御殿場市役所	御殿場市の史跡案内など
2001	40号	40-31	向原常美	時を紡いで
1996	35号	35-30	広嶋晃一	私の好きなツバキ
2005	44号	44-26	江戸椿研究会	国営武蔵丘陵 森林公園見学会の開催について
2006	45号	45-30	江戸椿事務局	横浜 「こどもの国」 椿の森見学会のご案内
2016	54号	54-7	江藤奈保	延岡城址公園(宮崎県延岡市)のヤブツバキについて
1964	4号	4-8	荒木良一	ツバキと開眼
1965	5号	5-9	荒木良一	ツバキ苗の鉢植え方法と培養について
2007	46号	46-25	行事担当	秋季見学会ご案内
2021	59号	59-7	香川支部	香川の椿(60余種)について
1992	31号	31-15	高井輝雄	先人の文化を今日に伝える
1999	38号	38-20	高井輝雄	松花堂昭乗と 「八幡椿」
2000	39号	39-33	高井輝雄	岡田種雄さんを偲んで
2003	42号	42-11	高橋 弘	創立時の会員番号 (001~100迄)
1995	34号	34-3	高橋 治	私 と 椿
1995	34号	34-21	高橋健彦	椿は日本人の心
2013	51号	51-6	高橋治	椿散って七句
2012	50号	50-23	高橋潤、木倉財子	椿油のてんぷら、大好評でした
1976	15号	15-29	高橋清一	① 千葉同好会(会長)(全国のツバキ会の紹介)
2016	54号	54-4	高見重任	故山口湛夫(ただお)さんが慈しみ育てた椿を譲り受けて
2015	53号	53-32	高杉静江	二口善雄先生の椿画
1981	20号	20-12	高木照男、今井	米国のツバキ育種家アッカーマン夫人①
2021	59号	59-15	高野晴夫	「私の椿道」
2013	51号	51-27	高野末男	カレンダーを飾る写真を撮るには
2018	56号	56-26	高野末男	私の椿写真の撮り方
2019	57号	57-23	高野末男	江戸椿のある植物園など調査
2020	58号	58-8	高野末男	私と玉之浦との縁
1991	30号	30-14	高梨俊夫	沖縄県域のツバキ園芸
2003	42号	42-1	国立歴史民俗博物館/蔵	【江戸屏風に描かれた江戸城内の御花畠】
2002	41号	41-9	黒川 謙一	巨木「寿三郎紅散り椿」の紹介
2017	55号	55-11	黒川雅子	巨木「寿三郎散り椿」のその後の様子
1976	15号	15-27	黒川道彦	椿展出品記
1990	29号	29-3	黒木 博	宮崎県内の有楽椿群
1995	34号	34-6	黒木 博	百両、千両、万両、(元宮崎県知事)
1998	37号	37-21	今雪史郎	初の 椿と山野草展
2004	43号	43-18	佐々裕基	屋上の椿群を管理する体験
2005	44号	44-11	佐々裕基	椿の変わった挿し木方法
2006	45号	45-16	佐々裕基	越中の人々と交わり、江戸で椿を育てる
2007	46号	46-15	佐々裕基	再び手にした “七変化椿” ??

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2021	59号	59-18	佐久間大輔	大阪市立自然史博物館に寄贈された「岸川椿蔵書」の概要
2007	46号	46-18	佐藤安和	小さな支部の動静
1996	35号	35-21	佐藤輝男	ベトナムの黄色い椿と特異な赤い花
2013	51号	51-25	佐藤義弘	とらやまの社
1961	創刊号	1-7	佐藤菊三郎	私の好きなツバキ三種 高山久三郎。山本清子。加茂善治。稲垣泰嗣。永田鋭明。 渡辺新一郎。林田恒甫。斎藤騏六。倉富定雄。武井近三郎
2015	53号	53-11	佐藤信弥	新潟県北部「村上市」の椿について
2012	50号	50-19	佐藤泰宏	杖と花
2014	52号	52-20	佐藤泰弘	鹿児島島のC.japonica油
2015	53号	53-35	佐藤泰弘	ツバキ心
2016	54号	54-19	佐藤泰弘	海から見た海石榴
2017	55号	55-8	佐藤泰弘	対馬暖流と八百比丘尼
2018	56号	56-21	佐藤泰弘	『境界』を越えて
2021	59号	59-12	佐藤泰弘	ツバキロード
2013	51号	51-20	佐野良子	つばぎとの出会い
1980	19号	19-20	最首雅晴	石井勇義さんの思い出
1963	3号	3-16	斎藤尚夫・伊藤抱月庵・溝口千恵	私のコレクション
2013	51号	51-26	細井進	「覆輪岩根」自己礼賛
2018	56号	56-7	坂井淳一	雪椿油と新潟支部の活動
1975	14号	14-14	坂口一雄	年貢椿と汁物木、新島の旧若郷村を中心として
2010	49号	49-18	坂上 博	金沢兼六園「ことじ椿」を訪ねて
2014	52号	52-5	坂上博	「巨瀬山のつらつら椿」を訪ねて
2021	59号	59-13	坂上博	思い出を十七文字に込めて
1988	27号	27-3	坂田祐介	ツバキ属植物の花色素の分布
1993	32号	32-8	榊原 光	銘椿と巨椿の紹介
1976	15号	15-21	榊原洋子	西王母挿話
1962	2号	2-11	桜井 みと	ツバキのカンヅメ
1984	23号	23-10	笹井延夫	愛媛のツバキ展望
2001	40号	40-18	三橋 醇	ライフワークとしての椿30年
1998	37号	37-29	三橋陽一	世界の椿に献身の生涯篠田信治さんのご逝去を悼む
2014	52号	52-7	三島克美	ツバキとヤマシャクヤクの自生地探訪
2015	53号	53-33	三島克美	なぜ！沖縄の石灰岩質の山にツバキが自生できるの？
2015	53号	53-9	三島克美	北国の雪椿探訪
1972	11号	11-7	山下国太	新羅の酒壺
1965	5号	5-13	山下国太	ツバキの名の呼ぶ方についての愚見など
1975	14号	14-20	山下国大	酒中花
1974	13号	13-16	山下実枝	唐椿 余話
2015	53号	53-45	山下隆	早咲きヤブ椿に夢を託して
2021	59号	59-20	山下隆	アザレア椿を使った四季咲き椿（夏咲き椿）の育成に取り組む
1991	30号	30-11	山口 聰	胚培養による黄色い椿の育種
1998	37号	37-10	山口 聰	地域の椿を育てる
2001	40号	40-5	山口 聰	「黄の蝶」から伊予椿へ
2009	48号	48-21	山口 聰	ツバキに思う
2014	52号	52-6	山口 聰	伊予路晴れ なにやら嬉し 椿咲く
2015	53号	53-26	山口 聰	Pollen Allelopathy（花粉間相互作用）から見たツバキ属の系統研究Ⅲ
2015	53号	53-44	山口 聰	ケンペル「廻国奇観」（1712）に記載されているツバキの品種名について
2017	55号	55-2	山口 聰	椿に長寿を願う
2020	58号	58-15	山口 聰	品種登録委員会からのお知らせ
2021	59号	59-19	山口 聰	日本の椿の発展第三の波アザレア椿に期待感
2021	59号	59-2	山口 聰	椿とともに
2021	59号	59-27	山口 聰	念ずれば新花咲く、椿の新品種作出の楽しみ
1997	36号	36-13	山口 吉松 茂	萩の椿同好会
1997	36号	36-17	山口三十治	ニュージーランドのツバキ雑感
2015	53号	53-37	山口誠	奈良と椿
2017	55号	55-21	山口勇	冬から春（2月～5月）の管理5つのポイント
2019	57号	57-6	山口勇	椿盆栽作りは楽しい
1992	31号	31-8	山崎光雄	「秩父山中記」
1998	37号	37-6	山崎光雄	椿園と週末農民
2012	50号	50-5	山崎光雄	人生、先が見えないから楽しい
1975	14号	14-5	山崎富佐子	ハルサザンカの新品種、「竜光と佐保姫」
1987	26号	26-9	山崎富佐子	ほが家のフランクリニア・アラタマハのルーツ（●珍種）



発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2000	39号	39-12	山崎洋子	ポルトガル紀行 「椿の女」を追って (海外のツバキ特集)
2016	54号	54-12	山城充真・牧野洋二	沖縄における地質構造とヤブツバキの自生地との関係性について—沖縄のヤブツバキは主に古期岩類の山麓に分布する—
1966	6号	6-7	山茶ツバキ、 ☆蜀茶(山茶の別)	茶経=陸羽、 本草綱目=李時珍、 群芳譜=王象晋、 秘伝花鏡=陳扶揺
1995	34号	34-20	山中武雄	私の、ツバキとの出会い
1988	27号	27-11	山田 保	E、G、ウォーターハウス博士について
1979	18号	18-24	山田嘉男	鳥取市周辺の椿
1983	22号	22-16	山田嘉男	鳥取の椿 (2)
2015	53号	53-31	山田恭代	椿のある旅館から
1962	2号	2-14	山田正夫	椿の季節たのし
1977	16号	16-12	山辺和夫	わが家の椿 一名前をつけてくださいー
1961	創刊号	1-4	山本栄市	会への希望
1992	31号	31-40	山本三重子	思い出との出会い
1999	38号	38-30	山本三重子	英国からのお客様
1992	31号	31-29	山本良一	5年目を迎えた知多支部
2007	46号	46-21	市忠顕	椿を詠んだ和歌
2013	51号	51-31	市忠顕	KCSについて
2015	53号	53-16	市忠顕	茅誠司先生と雪椿
2015	53号	53-20	市忠顕	ユキバタツバキについて 滋賀県の大黒山を例にして
2017	55号	55-17	志内利明	中国雲南省でのトウツバキ調査
2009	48号	48-19	紙面から	中森熊野神社「三面椿」が復活 (東海新報)
2012	50号	50-3	資生堂	「椿」と資生堂「TSUBAKI」
1975	14号	14-26	事務局	昭和50年、全国各地のツバキ展のお知らせ
1982	21号	21-25	事務局	1981年 全国各地の椿会。 会誌・会報の抄録
1987	26号	26-14	事務局	その他 会員名簿
1988	27号	27-17	事務局	昭和63年 当協会の活動報告
1991	30号	30-29	事務局	当協会総合名鑑(仮称)を出版。 当協会総会のご案内。
1992	31号	31-45	事務局	1993年度予算 総会案内と議案。 椿一鉢栽培運動。
1998	37号	37-32	事務局	寄贈図書一覧表。99国際ツバキ。会議宮崎大会のご案内。
1998	37号	37-33	事務局	当協会1997年度決算報告。通信バザール投稿見本。
2004	43号	43-21	事務局	日本ツバキ協会2003年度事業概要報告
2005	44号	44-28	事務局	当協会2004年度事業概要報告
2005	44号	44-29	事務局	2006年 ICS メルボルン大会の概要
2006	45号	45-31	事務局	日本ツバキ協会2005年度事業概要報告
2006	45号	45-32	事務局	創立50周年記念事業、「香り椿・花の生け垣」の普及について
2007	46号	46-24	事務局	当協会2006年度事業概要報告
1975	14号	14-36	事務局 長岡成男	昭和49年度の会の活動をふりかえって
1994	33号	33-42	寺山義雅	世界一のツバキ園を作った前宮崎市長・長友貞蔵さん
1980	19号	19-5	寺町忠行	薄色椿私考
1980	19号	19-6	寺町忠行	幻の黄色い椿、青い椿
1982	21号	21-13	寺町忠行	椿に逢いに 一宣長の里の椿ー
1985	24号	24-14	寺町忠行	滝谷寺の椿
1992	31号	31-13	寺町忠行	ペーロ花が咲いた
1975	14号	14-16	寺内 徹	椿の見どころと管理
1978	17号	17-24	寺門 徹	椿花に魅せられて
1978	17号	17-25	寺門 徹	私の庭の新品種
1979	18号	18-6	寺門 徹	椿の取り木
1982	21号	21-19	寺門 徹	私の育てた実生品種
2016	54号	54-3	蒔田明史	天然記念物としての「ツバキ自生北限地帯」の魅力
1975	14号	14-9	実安従郎	萩市の椿の地名
2010	49号	49-22	実行委員会	第21回全国椿サミット三陸・大船渡大会のご案内
2006	45号	45-21	篠田きみよ	ICSメルボルン大会、(海外編)
2005	44号	44-8	篠田きよみ	約束の「後瀬山」
2008	47号	47-23	篠田きよみ	安達嚙子を拝読して
2013	51号	51-22	篠田きよみ	つばきバカ
1994	33号	33-46	篠田信治	日豪友好の椿展
1995	34号	34-12	篠田信治	塩船観音寺の八百比丘尼像
1995	34号	34-30	篠田信治	海外椿事情
1996	35号	35-13	篠田信治	チジックハウス温室の椿
1997	36号	36-4	篠田信治	散華 ・ 乙女のわびすけ
1992	31号	31-44	篠田信明	ツバキの品種名について
1981	20号	20-14	篠田明利	椿の園芸品種解説に要望
1962	2号	2-12	柴 芳夫	ツバキの植え方と冬の管理 (埼玉県植物見本園々長)
1974	13号	13-1	写真・解説/桐野秋豊	【紋笑顔】(ツバキ系) 創設20周年記念号

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1966	6号	6-2	写真ページ	話題
1966	6号	6-2	写真ページ	キャプテン・ロウエル、栗原二号。
1989	28号	28-4	舟木正直	椿苗木とつき合う方法
1979	18号	18-18	重光春彦	椿随想、 狂い
1986	25号	25-11	重光晴彦	<椿随想> 栄枯盛衰
1988	27号	27-10	勝間 隆	サザンカ・ツバキの枝結びと連理
1996	35号	35-14	勝間 隆	大津絵の椿
1998	37号	37-14	勝間 隆	椿文鎌倉彫茶棚の一例
1997	36号	36-9	勝間 隆	サザンカ鉢づくりのたのしみ
1978	17号	17-26	小稲政博	早咲新品種「このみ白」の紹介
2001	40号	40-40	小笠原臣也	第12回全国椿サミット呉大会の開催について
2001	40号	40-12	小栗恭明	知多の里山の珠玉・濃紫紅色の「想紅」の紹介
1996	35号	35-26	小栗参平	ヤブツバキを楽しもう
1999	38号	38-33	小栗参平	榊原光さんを悼む
1962	2号	2-7	小原 寛	椿 好 き
1975	14号	14-35	小原謹治	海外の優秀品種の紹介
1979	18号	18-28	小原謹治	南房ツバキ便り
1984	23号	23-1	小原謹治	【ホブ・ホブ・ハブ】(洋種) 解説
1990	29号	29-6	小原謹治	最近の洋種椿(洋種王)
1997	36号	36-15	小山マツエ	アメリカ椿の思い出
1975	14号	14-34	小松崎秀男	逗子市の木にツバキがきまる
1997	36号	36-6	小菅悦男	利島における油科ツバキの生産改善
2006	45号	45-26	小川秀世	ニュージーランドの
2009	48号	48-13	小川秀世	アメリカ南部の椿事情
2013	51号	51-11	小川秀世	静岡ツバキ会と「世界の椿展」
2016	54号	54-11	小川清	太郎冠者の起源を考える
2005	44号	44-16	小川富弘	判りました。栃木、栗野町の大椿
2009	48号	48-18	小川富弘	更新移植で椿公園を
2012	50号	50-14	小泉喜玖子	夫の愛した椿
2005	44号	44-15	小泉不二男	中山忠造邸の初雁とその出自
2006	45号	45-11	小泉不二男	茨城の椿あれこれ「鹿島花香殿」のこと
2007	46号	46-9	小泉不二男	袖隠について
2010	49号	49-19	小泉不二男	中山忠造さんの思い出
2012	50号	50-10	小泉不二男	斑入り椿考
2015	53号	53-42	小泉不二男	支部活動報告 平成26年度椿研究会(接ぎ木)報告
2019	57号	57-11	小泉不二男	椿盆栽あれこれ
2020	58号	58-12	小泉不二男	平成31年度椿展で話題になった事～ロイヤル・ベルベットと斑入り～
2021	59号	59-8	小泉不二男	稲沢・瀬戸・知多半島を巡る椿旅
1999	38号	38-15	小倉 寛	雪国つばきへの誘い
2006	45号	45-15	小倉 寛	ツバキの誘い
2002	41号	41-17	小田慶久	龍源椿
2021	59号	59-22	小嶋信江	有楽町～丸の内のゴールドニア並木
1983	22号	22-17	小藤清己	出雲椿について
1984	23号	23-16	小藤清己	出雲風土記に出てくる椿
1984	23号	23-18	小藤清己	つばき油は日本人の活力源
2008	47号	47-18	小門廣	椿に思う
2015	53号	53-3	小門廣	最新日本ツバキ図鑑(誠文堂新光社2010.1.30版)を読む
2018	56号	56-27	小門廣	我が家の椿栽培(1~4月)
2021	59号	59-21	小門廣	「アザレア椿」と品種「節」
1991	30号	30-24	小野始朗	ツバキとの出会い
1992	31号	31-37	小野始朗	白いツバキ
1994	33号	33-28	小野始朗	浅虫温泉・椿館
2015	53号	53-13	小野寺栄喜	北国の椿
2012	50号	50-18	小野寺栄喜、村上盛文、相	椿で復興を目指します～気仙沼市大島の挑戦～
2009	48号	48-16	小林紀代子	山本三重子さまの思い出
1997	36号	36-23	小林恵子	ツバキのホームページの紹介
1962	2号	2-15	小林幸太郎	珍品 ホンコンツバキ(小石川植物園園芸主任)
1994	33号	33-20	小林政紘	私の花の旅
2005	44号	44-1	小林政紘	【サニタニア】(洋種) 画
1975	14号	14-19	松井 宣	カナダ、中南米旅行と椿
1976	15号	15-23	松井 宣	ヨーロッパの椿聞き書
1977	16号	16-19	松井 宣	椿おちこち(椿の吉野山、医王寺の童女椿)
2001	40号	40-10	松井清造	「西王母」にこだわる私の黄花雑種
2017	55号	55-6	松井清造	石川のツバキと西王母
2021	59号	59-26	松井清造	今は亡き桐野さん石川県で発見された椿の大樹
2013	51号	51-9	松岡陽子	はじめよう!椿とのふれあい

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2003	42号	42-13	松江市長	第14回サミット松江大会
1969	7号	7-16	松崎紫朗	日米親善アメリカ椿園の起因 (★ ことしの協会の予定)
1992	31号	31-36	松田 浩	琉球の古典舞踊になぜ椿の花か
1994	33号	33-7	松田 浩	沖縄のツバキとその品種
2019	57号	57-13	松田久徳	椿盆栽に魅せられて
1992	31号	31-34	松尾西東	長崎の椿をめぐるあれこれの話し
1993	32号	32-5	松尾西東	野母崎の椿自然林 ・ 他
1994	33号	33-11	松尾西東	田平の椿と平戸の椿
1996	35号	35-16	松尾西東	わが諫早北高支部を語る
1997	36号	36-12	松尾西東	趣味のやきものづくり
1998	37号	37-16	松尾西東	長崎のツバキ先達
1999	38号	38-28	松尾西東	沖縄県宮古島への椿の種実を贈る
2000	39号	39-27	松尾西東	岩手大船渡大会に参加して (全国椿サミット)
1961	創刊号	1-3	松平康邦	さざんか
1976	15号	15-35	松平康邦	第21回 椿展日記 (三越会場)
1979	18号	18-26	松平康邦	第24回 三越椿展
1980	19号	19-28	松平康邦	第25回 三越椿展
1981	20号	20-21	松平康邦	第26回 春の椿展 (三越本店)
1981	20号	20-22	松平康邦	第9回 農林中金 椿展
1964	4号	4-11	松平康邦	イギリスのツバキ
1965	5号	5-11	松平康邦	ツバキのうた
1966	6号	6-11	松平康邦	イギリスのツバキ見て歩く
1969	7号	7-13	松平康邦	イギリスのつばき (★ 米国の会報から)
1970	8号	8-11	松平康邦	“つばき”と名がついて “つばき”と名がついて
1970	8号	8-14	松平康邦	第15回 ツバキ展
1970	8号	8-6	松平康邦	昭和年度夏期技術講習会
1970	9号	9-10	松平康邦	第16回 ツバキ展と夏講習会
1972	11号	11-15	松平泰邦	第17回ツバキ展
1973	12号	12-17	松平泰邦	昭和47年春 三越椿展
1975	14号	14-25	松平泰邦	昭和49年、第20回椿展 三越会場
1982	21号	21-24	松平泰邦	第27回 三越・春の椿展
1986	25号	25-10	松本秀夫	取り木の石積み栽培法に就いて
1987	26号	26-4	松本秀夫	椿は花が不吉なものとして 言い伝えられる事に就いて
1991	30号	30-17	松本秀夫	椿を求めて小さな旅
1997	36号	36-19	松本重雄	1997年ICSオークランド大会 ポストツアー2に参加して
1998	37号	37-30	松本重雄	篠田信治さんのご逝去を悼む
1999	38号	38-9	松本重雄	1999年ニュージランド国内ツバキ大会に参加して
2000	39号	39-21	松本重雄	NZミレニアム椿大会に出席して
2000	39号	39-34	松本重雄	二人のトーマスの急逝を悼む
2004	43号	43-16	松本重雄	シーリーの原著を翻訳して
2004	43号	43-3	松本重雄	ドイツ・ツバキ巡礼の旅
2005	44号	44-20	松本重雄	まだ見ぬスペインの椿姫達
2006	45号	45-24	松本重雄	ニュージーランドへの
2007	46号	46-22	松本重雄	ガリシア椿巡礼の旅
2008	47号	47-17	松本重雄	ポンテベドラ向けツバキ油搾油器輸出の顛末記
2009	48号	48-9	松本重雄	国際ツバキ協会について
2010	49号	49-9	松本重雄	久留米国際ツバキ大会の裏表 / 大分農業文化公園、大分 農林水産研究センター花卉研究所 ツバキ園
2002	41号	41-14	松本重雄	パット・マクドナルドICS会長のご逝去を悼む
2005	44号	44-14	松本重雄	日本ツバキ見聞録、-----訳
2002	41号	41-10	松本重雄 栗原繁	肥後つばき協会の講習会 ・ 研修会に参加する
1995	34号	34-28	沼尻保夫	つばきのクリーニング
2001	40号	40-24	沼尻保夫	椿古木礼讃
1976	15号	15-24	上岡信三	私の場合 椿入門記
1982	21号	21-8	上村安夫	鹿児島県の北端・長島のツバキとサザンカ
2016	54号	54-6	上田香翠	奈良の銘椿と樹木医
2019	57号	57-7	上田香翠	椿の盆栽について
1984	23号	23-17	上田敏明	スペイン ・ ガリシア地方の椿
1977	16号	16-3	上田敏朗	新しい型のツバキの育種 (訳)
1991	30号	30-6	上本俊平	熱帯のヤブツバキ
1996	35号	35-36	上本俊平	国際ツバキ協会アジア支部のアンケートについて
1994	33号	33-31	上本俊平 李 善河	ツバキの花芽分化の要因について [その他の部]
1986	25号	25-8	上本俊平、宮島郁夫	金花茶の花色素形成
2000	39号	39-32	植村猶行	花き園芸界のますます発展を願う
2004	43号	43-15	植村猶行	レジスター全品種のチェックリストを

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1996	35号	35-31	新井 肇	椿花五題
2000	39号	39-15	新関 紀	サン・ミゲル島に想うこと
2006	45号	45-22	新関 紀	ICSメルボルン大会、ツバキ紀行
1966	6号	6-3	新品種紹介	春の夢、春の舞、藪ツバキ、秋の月、メザメ、白鷗ハッカ、天ヶ下
2016	54号	54-10	新名典忠	椿の古木”日本最大の有楽椿の里”(宮崎県西都市)
1999	38号	38-16	森田章介	こどもの国・椿の森みどりのボランティア
1991	30号	30-27	神宮寺るみ子	小説 椿の庭
2013	51号	51-16	神宮真由美	椿人たちの調べ
2015	53号	53-43	神宮真由美	大島椿人(つばきびと)の集い
2012	50号	50-12	神田北童	雪椿への憧れ
2015	53号	53-17	神田北童	椿とのつたない交流で感じたこと
1997	36号	36-5	神奈川 岡田昌啓	椿で感動の輪を!
1964	4号	4-22	須齊久志郎	こんな本がほしい
2018	56号	56-14	水ノ江雄輝	生物的・化学的要因が椿油の生産量と品質に及ぼす影響
2017	55号	55-12	水ノ江雄輝・吉野賢一	大分県における古木ツバキと自生ツバキの遺伝的類縁関係
2016	54号	54-14	水ノ江雄輝・徳永由紀・竹下稔・尾崎行生	複色花ツバキ品種におけるアントシアニン生合成
2015	53号	53-25	水ノ江雄輝・尾崎行生	西洋ツバキ品種の成立に関与した久留米ツバキ
1992	31号	31-43	水上俊正	氷見支部の 結成にあたり (全 (富山県))
1993	32号	32-11	水上俊正	氷見の藪ツバキ
1994	33号	33-26	水上俊正	富山県氷見市にあるヤブ椿と菊桜の抱き合わせ珍木
1998	37号	37-26	水田清彦	文芸作品に表わされた「椿」について
1999	38号	38-19	水田清彦	文芸作品に表わされた「椿」について
2000	39号	39-29	水田清彦	文芸作品に表わされた「椿」について(2)
2001	40号	40-38	水田清彦	文芸作品「椿」について(その4)
2002	41号	41-18	水田清彦	文芸作品に表わされた「椿」について(その5)
1974	13号	13-13	杉原信司	尾張つばき 見学案内
1993	32号	32-12	杉原信司	日本海沿岸のツバキ分布調査とその特徴
1996	35号	35-6	杉原信司	ツバキの起源と進化を探る旅
2007	46号	46-6	杉原信司	ゴールドニアとランケオラータ(原種ツバキシリーズ 1)
2008	47号	47-7	杉原信司	原種シリーズII ゴールドニアとタッチェリア
2009	48号	48-10	杉原信司	山茶と油茶の発生
2009	48号	48-6	杉原信司	アザレアツバキの生理
2017	55号	55-10	杉原信司	徳重と新川の寒椿
2018	56号	56-19	杉原信司	ツバキ属の起源と進化を探る旅 前編
2019	57号	57-16	杉原信司	ツバキ属の起源と進化を探る旅 後編
2021	59号	59-10	杉原信司	「中国の園芸ツバキの成り立ちと初期の文化」
1970	8号	8-19	杉村 武	ちん談集 (末尾より)
1989	28号	28-3	杉村和則	私の盆栽の作り方
2008	47号	47-26	杉本・野口	江戸椿研究会からのお願い
2013	51号	51-32	世満陽子	大分農業文化公園の紹介
1962	2号	2-4	瀬戸口 弘	ツバキの品種名統一への提案
1996	35号	35-25	清水ふじ枝	静岡市周辺の椿
1963	3号	3-5	清野主	最近のアメリカのツバキ
2002	41号	41-8	西村舜子	たのしい接木・椿の新芽接ぎ
2004	43号	43-13	西村舜子	株立ちトウツバキを育てる
2005	44号	44-22	西村舜子	マジョレ湖の椿(スイス)
2006	45号	45-25	西村舜子	オーストラリアと
2009	48号	48-14	西村舜子	アメリカのカメリアショ
2013	51号	51-24	西村舜子	吉野のトウツバキ
1982	21号	21-6	西村良之助	私のアイデア・腰掛接ぎ新技法
2004	43号	43-20	西尾郁子	第15回全国椿サミット五島大会のお誘い
1977	16号	16-14	西尾昭男	銀閣寺の椿について
1978	17号	17-7	西尾昭男	ツバキ気候について
1980	19号	19-13	西尾昭男	椿の開花と気候に関する一感想
2003	42号	42-9	西澤幹雄	篠田信治さんとの思い出
1992	31号	31-25	青木 勇	高尾山つばき展で会員の深まりと地域への広まりを
1977	16号	16-11	青木 勇	椿の挿木について
2019	57号	57-19	斉藤敦	椿油の品質管理と油脂分析法について
1961	創刊号	1-2	石川 清	椿の佳さ(会長)
1971	10号	10-4	石川 清	アメリカからの椿客
1973	12号	12-2	石川 清	伊豆大島のツバキを見直そう(会長)
1975	14号	14-3	石川 清	日本ツバキ協会の対外活動(二) 会長
1976	15号	15-3	石川 清	日本ツバキ協会の対外活動(三) 会長

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1978	17号	17-1	石川 清	題字 (会長)
1962	2号	2-8	石川 清	椿客だより
1981	20号	20-1	石川 清	表紙題字 椿 (名誉会長)
1963	3号	3-11	石川 清	黄色椿
1970	8号	8-4	石川 清	オーストリア及びニュージーランドの旅
1970	9号	9-2	石川 清	ツバキの絵「山椿」速水御舟筆
1963	3号	3-10	石沢進	ツバキの生理・花はいつ・何によって開花するか
2015	53号	53-19	石沢進	ユキバタツバキの分布と変異
1972	11号	11-8	石津 百合夫	椿の旅
1980	19号	19-14	石本 功	椿の苗木価格と価値感について
1982	21号	21-12	石本 功	早咲き椿に思う
1977	16号	16-17	石本 功	私の椿体験日記
2015	53号	53-29	赤司巳喜雄・鈴木和代	久留米草野町にはぐくまれた古椿「正義」
2019	57号	57-18	赤城善弘	国際優秀つばき園の認定は離島に何をもたらしたか-大島から2年後の報
2017	55号	55-3	赤城善弘・吉野静夫・山田三正	大島のツバキの化石の物語
1998	37号	37-17	赤星健之	鉢植えの栽培を楽しむ
1992	31号	31-24	摂斐史郎	園地(ソノチ)のつばき
1992	31号	31-33	摂斐史郎	わたくし達のつばき展
1993	32号	32-6	摂斐史郎	随想 北九州市内の寺社とつばき
1999	38号	38-22	摂斐史郎	悲願の峠への登りつめた喜び
2001	40号	40-23	摂斐史郎	椿の巨樹を見つける
1988	27号	27-9	川下吉紀	椿盆栽作りの動機
1991	30号	30-26	川原澄子	結び柳
1992	31号	31-38	川原澄子	白き花
1995	34号	34-25	川原澄子	花所望
1996	35号	35-27	川原澄子	『茶の本』を読んで
1997	36号	36-21	川原澄子	椿葉考
2003	42号	42-8	川原澄子	お染久松の山茶花
2005	44号	44-21	川原澄子	椿論
2013	51号	51-23	川原澄子	ピエール・ロチと椿
2017	55号	55-9	川本武美	京都八幡の「つばき展」と国宝・石清水八幡宮
1966	6号	6-17	浅井敬太郎	ツバキこそ日本の代表花
1992	31号	31-22	浅井朝司	椿のスタンダード作りを見直そう
1996	35号	35-22	浅井朝司	斑入花の椿考
2000	39号	39-25	浅井朝司	目指せ 世界の椿に〔日本産の椿を〕
1988	27号	27-7	船木司郎	鉢栽培の実際
1992	31号	31-23	船木正直	実生の勧め
2010	49号	49-12	薦田高士	伊予つばき支部設立にあたって
2006	45号	45-28	選挙管理委員	日本ツバキ協会会長選挙公示
2014	52号	52-16	前田安彦	自分と椿
1979	18号	18-9	前田勝宏	ハルサザンカと思われる侘助タイプの新品種
1981	20号	20-11	早川政雄	雪椿を接木盆栽にするまで
1983	22号	22-14	早川政雄	つばきと私
1985	24号	24-6	早川政雄	寒害雑談
1974	13号	13-12	早川博司	尾張の名椿・詳解
2009	48号	48-23	相沢 優	「利島椿」工芸品の紹介
1999	38号	38-13	草野隆司	「宮崎国際ツバキ会議」コングレスツアーを萩の椿群生林に迎えて
1992	31号	31-18	増田耕作	熱帯産椿2種
1990	29号	29-9	増島富美	椿との出会い
2005	44号	44-10	蔵元良介	根上がり盆栽の創り方について
2007	46号	46-14	蔵元良介	私の発見した「長福寺八重椿」について
2013	51号	51-21	足立尚義	ツバキに魅せられて
1962	2号	2-2	村井悦子	『椿』
1963	3号	3-24	村井悦子	カット
1964	4号	4-14	村井悦子	短歌
1964	4号	4-18	村井悦子	わたしの近況
1963	3号	3-9	村山豪	武士の心をうつす肥後ツバキ
1987	26号	26-6	村松 剛	中国浙江省杭州市「花園」をたずねて
1998	37号	37-11	村上ゆき江 山口聡	花粉の発芽反応から見たハルサザンカ品種の特徴
2002	41号	41-16	村田洋二	斑入り葉のころ
2014	52号	52-13	村田洋二	雲珠とともに時を刻んで
1990	29号	29-16	村田祇臣	私の育成したミニツバキ
1993	32号	32-23	村内重幸	椿と不思議な出会い
1970	9号	9-12	多数名	ツバキについてのアンケート

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1994	33号	33-15	太田旭弘	世羅西の長寿椿
1984	23号	23-6	太田克典	ツバキの片袋接ぎ
1988	27号	27-6	太田克典	ツバキの盆栽の基礎
1989	28号	28-5	太田克典	除草剤の上手な使い方について
1990	29号	29-18	太田克典	小輪ツバキ雑種の育成に期待する盆栽作り
1991	30号	30-8	太田克典	ジビングによるツバキ開花促進について
1995	34号	34-10	太田克典	中国・雲南省麗江市の樹齢500年のツバキ紹介
1999	38号	38-34	太田克典	その機が熟しました、日本ツバキ協会の 社団法人設立を進めましょう
2001	40号	40-11	太田克典	新品種の登録制度を提案します
1991	30号	30-9	太田克典	ツバキ鉢作りのポイントについて
1978	17号	17-21	太田次雄	防虫灯・団扇葉椿の紹介
1982	21号	21-7	太田次雄	ミニ盆栽のすすめ
1983	22号	22-12	太田次雄	金花茶にかける夢二題
1988	27号	27-8	太田次雄	ミニ盆栽の作り方
1990	29号	29-19	太田次雄	実生の根を利用したミニ盆栽台木作り
1978	17号	17-2	太田次雄	【唐美人】とその解説
1976	15号	15-11	大岡徳治	新潟のユキツバキ十花選
1994	33号	33-12	大家儀一郎	土佐の特産品
1997	36号	36-27	大会実行委員会	徳島のサミットへぜひご参加を !!
2000	39号	39-36	大会実行委員会	第11回全国サミット 開催要項
1994	33号	33-23	大原町椿の会	千葉・大原町の新名所 「椿公園」 オープン
1991	30号	30-16	大崎裕子	ツバキ油の皮膚への有効性
2014	52号	52-3	大山邦雄	佐賀県最北端の椿園「加唐島」を訪ねて
1995	34号	34-11	大山裕子	椿のアリエール
1993	32号	32-10	大場正俊	東京都 八王子市内外の椿
1999	38号	38-37	大船渡大会	東北初の全国椿サミットへ多数のご参加を
2012	50号	50-9	大船渡東高	全国椿サミット発表History of 東高ツバキ
1994	33号	33-8	大沢峰子	私の椿文様コレクション
1987	26号	26-5	大伴幸子	オーストリア椿会員の来豊を迎えて
1989	28号	28-11	大伴幸子	国際ツバキ協会のナポリ大会とヨーロッパの旅
1992	31号	31-10	大伴幸子	私のツバキ国際交流史
1993	32号	32-9	大伴幸子	伊豆箱根つばき探訪
1994	33号	33-22	大伴幸子	三河周辺のツバキ観光コース
1971	10号	10-3	大平一利	ツバキの品種 解説 (鹿児島など12品種)
1972	11号	11-13	大平一利	緑枝接について
1972	11号	11-5	大平一利	続・覆輪について
1973	12号	12-16	大平一利	中京椿の見学会 (例会の報告)
1973	12号	12-18	大平一利	第一回 農林中金の椿展
1975	14号	14-11	大平一利	フレーグランド・ピンクの寄贈を受けて
1975	14号	14-27	大平一利	昭和49年度、第三回 「椿展」 農林中金
1975	14号	14-7	大平一利	椿の絞りの変遷について
1976	15号	15-18	大平一利	ツバキ・サザンカの栽培の歴史
1976	15号	15-36	大平一利	第4回 農林中金会場の椿展
1976	15号	15-39	大平一利	江ノ島と大船フラワーセンターの椿見学会
1977	16号	16-21	大平一利	椿あれこれ
1977	16号	16-27	大平一利	第22回 三越ツバキ展について
1977	16号	16-28	大平一利	昭和51年度に農林中央金庫が主催 又は共催・協力した全国各地のツバキ展
1978	17号	17-16	大平一利	つばきあれこれ
1979	18号	19-15	大平一利	椿あれこれ (黒ツバキ、白ツバキ、昔話)
1980	19号	19-18	大平一利	ツバキあれこれ (1)雲南ツバキについて (2)民話
1983	22号	22-19	大平一利	江戸時代 ・ 我が国にもあった黄色つばき
1986	25号	25-5	大平一利	風土記の椿
1964	4号	4-16	大平一利	珍花
1966	6号	6-10	大平一利	栗原義文氏と栗原二号
1969	7号	7-14	大平一利	都、西北地域の椿について
1970	8号	8-8	大平一利	椿の枝変りについて
1970	9号	9-6	大平一利	覆輪について
1993	32号	32-21	大平君江	一人のマニアの思い出
2008	47号	47-22	大野良三	私の椿絵
2015	53号	53-6	大友俊和	「北国の椿」秋田県での椿栽培
2021	59号	59-14	大友俊和	2020年北国秋田の椿生活
2016	54号	54-2	第26回全国椿サミット与謝野大会実行委員会	凜として 千歳紅さす 滝つばき 「第26回全国椿サミット与謝野大会」へのご案内 来る4月9日(土)10日(日)は京都府与謝野町にお越

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2017	55号	55-16	第27回全国椿サミット野々市大会実行委員会会長 栗貴章	<野々市市誕生5周年記念事業>一古(いにしえ)から未来へつなぐ朱鷺色の時間(とき) - 「第27回全国椿サミット野々市大会」へのご案内 - 来たる3月18日(土)19日(日)は、ぜひ石川県野々市市にお越しください 福井県 小浜のツバキについて
2001	40号	40-22	沢田辰雄	
2015	53号	53-22	谷川奈津	葉緑体DNA多型が示す太郎冠者とワビスケツバキ品種の母系祖先
2018	56号	56-17	谷川奈津	ヤブツバキ"千年藤紫"の紫色花色についての研究紹介
1995	34号	34-32	谷本正憲	早春の石川 椿旅~日本椿まつり・96いしかわ~第6回全国サミット
1971	10号	10-9	樽本 清	有香品種作出の不安と期待
1973	12号	12-14	樽本 清	ユベ・カリア・ツバキ(各地のツバキ会 紹介)
1973	12号	12-5	樽本 清	アマチュアのために香りつばき未来学
1975	14号	14-8	樽本 清	中国工芸品にあらわれるツバキと熊谷
1976	15号	15-1	樽本 清	【隠れ磯】 カラー写真 桐野提供、
1977	16号	16-23	樽本 清	消えた曙
1977	16号	16-25	樽本 清	カリフォルニアのツバキをたずねて
1978	17号	17-13	樽本 清	洋種ツバキの名称あれこれ
1979	18号	18-19	樽本 清	オーストリアとニュージーランドの旅
1980	19号	19-15	樽本 清	米国カメリア・ベルト横断
1989	28号	28-15	樽本 清	香りツバキへの夢
1970	8号	8-12	樽本 清	香りのあるツバキを
1975	14号	14-30	丹羽修平	石川県の椿(その一)
1963	3号	3-17	丹羽修平・瀬戸東治郎・山本守・小沢実・尾崎喜八・	私の好き三種
1992	31号	31-14	丹羽長春	岐阜椿会の昨日今日
2009	48号	48-24	担当者	2009年 秋~10年早春の各地のツバキ展
2009	48号	48-25	担当者	日本ツバキ協会への寄贈図書ほか
2009	48号	48-26	担当者	日本ツバキ協会 08年度事業概要報告
2009	48号	48-27	担当者	日本ツバキ協会 08年度決算報告
2010	49号	49-23	担当者	特別企画参加のお誘い (韓国の旅) (新潟の雪椿の旅)
2010	49号	49-24	担当者	当協会 2009年度事業概況報告
2010	49号	49-25	担当者	当協会 2009年度収支決算報告
2010	49号	49-26	担当者	当協会 への寄贈図書ほか
2010	49号	49-27	担当者	カメリア93号「椿一市の花・町の花」訂正と追加報告
2010	49号	49-28	担当者	2010年秋~2011年早春の各地のツバキ展
2013	51号	51-8	団野進	しまね花椿同好会
1976	15号	15-4	池田金八	雲南山茶花の品種表の改訂
1978	17号	17-4	池田金八	雲南山茶花に関する現代中国の文献(トウツバキ)
1974	13号	13-7	池田智八	雲南山茶花の新品種
1984	23号	23-9	池田忠生	ヤブ椿の魅力
1992	31号	31-7	竹下康雄	フィリピンのツバキ属原種
1994	33号	33-35	竹折歌子	精製ツバキ油が乾燥皮膚の油分補給に効果的な理由
1962	2号	2-5	竹内 実	雪国のツバキ
2000	39号	39-26	竹内 実	富山の寒椿
1994	33号	33-38	竹内三千男	前山 気延山麓椿自然公園推進計画について
1966	6号	6-8	茶梅花サザンカ、	植物名実図考 = 呉其濬、 滇南茶花小志 = 方樹海、 雲南的茶花 = 俞徳浚、等
1982	21号	21-16	中山幸男	長崎のツバキと黄色ツバキ
1981	20号	20-18	中山初蔵	島根県の新品種・素鷲の姫の紹介
1999	38号	38-18	中山忠造	椿展の思い出
2000	39号	39-19	中山忠造	24年前のオーストラリア、ニュージーランド
2002	41号	41-15	中山忠造	私と椿
1961	創刊号	1-8	中村恒雄	サザンカの銘鑑と類別/茶梅花大集(明治10年発行) 芦沢弥五郎
1983	22号	22-3	中村恒雄	創立期の思い出 ◆(師匠の訃報) 2010-08=07
1986	25号	25-17	中村恒雄	チャの観賞
1987	26号	26-13	中村恒雄	サザンカの一文献紹介
1988	27号	27-1	中村恒雄	【田原坂】 肥後椿(つばき盆栽) 解説
1990	29号	29-8	中村恒雄	椿交遊録、孔雀、浜田山、氷室雪月花
1963	3号	3-1	中村恒雄	【太神楽】(写真白黒) 解説/題字は石川会長
1993	32号	32-22	中村恒雄	訃報 長岡成男さん
1995	34号	34-31	中村恒雄	ツバキ園計画
1998	37号	37-13	中村恒雄	落花集録
2003	42号	42-4	中村恒雄	ツバキに魅せられた人々
1965	5号	5-1	中村恒雄	【朝鮮椿】(写真白黒) 解説
1965	5号	5-12	中村恒雄	ツバキの文献紹介
1966	6号	6-1	中村恒雄	【古金欄】 解説 ※ 借物文献会誌 渡辺氏から

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1961	創刊号	1-1	中村恒雄	【臘 月】 (角葉白玉) (写真白黒) 解説
1962	2号	2-1	中村恒雄	【沖の浪】 (写真白黒) 解説
1989	28号	28-13	中村祥二	つつましい椿
1972	11号	11-9	中村良一	花なし椿 (開かずの椿)
1975	14号	14-31	中村良一	石川県の椿 (その二) 雛鶴
1976	15号	15-8	中村良一	侘助ツバキ群の新品種 (仁左エ門侘助の品種)
1977	16号	16-15	中村良一	枝垂れ椿
1964	4号	4-7	中村良一	ツバキと私
1982	21号	21-20	中村良一	トウツバキ(唐椿) 金沢市に健在なり
2019	57号	57-5	中田敏行	盆栽椿と私
1997	36号	36-26	中島武美	古市長正さんを悼む
1971	10号	10-13	中尾 敬	木更津ツバキ会だより
2013	51号	51-15	中澤昌弘	椿に託す夢と未来
1985	24号	24-13	仲山中士	椿盆栽づくりのための接木
1989	28号	28-9	仲村浩行	今 椿界を想う
2009	48号	48-17	仲村清彦	椿に生きた父
2015	53号	53-46	仲村清彦	大船渡に椿園を造る
2017	55号	55-13	仲村清彦	樹齢400年の太郎冠者を移植する
2021	59号	59-5	仲村清彦	御殿場市旧岸邸太郎冠者について
1972	11号	11-1	仲村訥郎	【蜀 紅】 解説
1975	14号	14-12	仲村訥郎	百椿集 ・ 試図
1976	15号	15-38	仲村訥郎	第 1回西武ビッグボックス椿の花展
1978	17号	17-8	仲村訥郎	椿十進分類法について
1979	18号	18-27	仲村訥郎	第 1回 椿の心展 (早咲椿と山茶花の展示会) 報告
1980	19号	19-11	仲村訥郎	江戸時代 椿品種考
1980	19号	19-29	仲村訥郎	1979年 椿の心展 報告 (早咲椿と山茶花の会)
1981	20号	20-17	仲村訥郎	江戸時代 椿品種考 (二)
1981	20号	20-23	仲村訥郎	1980 椿の心展 (早咲椿と山茶花の会)
1982	21号	21-22	仲村訥郎	花壇地錦抄 試図
1983	22号	22-20	仲村訥郎	花壇地錦抄 ・ 椿、花形、花色一覧表
1970	8号	8-20	猪熊泰三	金 魚 椿 (末尾より)
1976	15号	15-7	猪野泰三	ピートを使った椿の取り木
1976	15号	15-20	潮田謙三郎	椿 百 詠
1972	11号	11-17	長岡 記	ツバキ見学
1971	10号	10-18	長岡成男	事務局より
1973	12号	12-19	長岡成男	講演と穂木の交換会
1973	12号	12-20	長岡成男	会員便り
1976	15号	15-34	長岡成男	昭和50年度・協会活動報告(事務長)
1977	16号	16-26	長岡成男	昭和51年度 協会活動の報告
1979	18号	18-25	長岡成男	1978年(昭53)の協会活動報告
1980	19号	19-27	長岡成男	昭和54年協会活動の報告 事務局
1962	2号	2-16	長岡成男	椿 姫 いずこ
1992	31号	31-9	長岡成男	ツバキ展 はじめのころ
1969	7号	7-1	長岡成男	【ララロック】 (洋種) 解説
1964	4号	4-6	長田真理和	椿尽しとボクハン
1981	20号	20-8	長尾 良	実生 雑観
1982	21号	21-18	長尾 良	ハイブリッド 「シルクロード」
1984	23号	23-13	長尾 良	シルクロードと春の夢
1987	26号	26-8	長尾 良	芳香ミニつばき 「香妃」
1988	27号	27-5	長尾 良	金花茶の1代雑種の交配記録
1990	29号	29-17	長尾 良	新しい芳香ミニつばきを求めて
1991	30号	30-18	長尾 良	実生の体験から
1980	19号	19-7	長尾 良	私の作ったハイブリッド・ファンタスト
1983	22号	22-6	長尾 良	金花茶の種間雑種 誕生
1993	32号	32-19	長尾健次郎	清野 主氏を偲びて
2001	40号	40-32	長尾節子	北限自生ツバキの旅
1972	11号	11-4	長浜 昇	ツバキの果実 胞背線・胞間線の変化を中心とした外部形態の観察(予報)
1980	19号	19-10	長浜 昇	三宅島の色変りツバキ (主として島下地区のツバキについて)
1981	20号	20-10	長浜 昇	三宅島北斜面のツバキ
1982	21号	21-10	長浜 昇	金沢のつばき・その年齢
1983	22号	22-18	長浜 昇	「川奥の白椿」のこと
1984	23号	23-12	長浜 昇	菊月 「六八三六」 ▲(私の作った新花紹介)
1985	24号	24-12	長浜 昇	花形・花の大小と観賞者との距離 主として一重の場合
1986	25号	25-7	長浜 昇	川奥の椿原は水の神・村境の神
1970	8号	8-16	長浜 昇	椿の実生の試み



発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1970	9号	9-5	長浜 昇	ツバキの実生の試み、 その2 ウラク64とその周辺
1985	24号	24-10	長浜、 (記)	播種から苗の選別まで一実生部会より
1962	2号	2-10	津山 尚	わが国の栽培ツバキについて □ 特に野生種との関係
1981	20号	20-3	津山 尚	お茶の水女子大学でのツバキ育種など
1981	20号	20-6	津山 尚	中国産ツバキ属の新知見紹介
1992	31号	31-4	津山 尚	ユキツバキとの出会い
1995	34号	34-4	津山 尚	サ ク ラ (ツバキ品種名)
1971	10号	10-14	津山 尚	「椿花図譜 宮内庁蔵本」 1967年発行 (図書紹介)
1971	10号	10-5	津山 尚	ツバキの習作
1973	12号	12-7	津山 尚	新品種の話
1974	13号	13-4	津山 尚	中国産まの金黄色 有香のツバキ・金花茶
1974	13号	13-8	津山 尚	雲南の古典トウツバキ系品種のコメント
1988	27号	27-2	津山 尚	ツバキの話
1970	8号	8-15	津山 尚	可愛らしいツバキ属の二種
1970	8号	8-18	津山 尚	日本のツバキ品種 (末尾より)
1999	38号	38-10	津山 鈴木 鈴鹿 竹内	日本ツバキ・サザンカ名鑑を祝いて
1969	7号	7-7	津山尚、大平一利	幻の黄色ツバキ (★ 本文)
1980	19号	19-21	追村勝也	安芸のヤブ椿
1992	31号	31-42	塚崎正一郎	井口支部 結成にあたり (全)
1995	34号	34-29	塚崎正一郎	ユキツバキの井口村 ニュース
1996	35号	35-24	塚崎正一郎	富山県氷見支部長は「ふる里ツバキ名人」
1996	35号	35-24	塚崎正一郎	ツバキの蜜を吸う目白と鶉の姿
1998	37号	37-15	塚崎正一郎	ツバキの「いのち」の「すがた」 「知恵」
1999	38号	38-25	塚崎正一郎	99 いのくち つばき祭り
2001	40号	40-27	塚崎正一郎	基調講演が-----学んだこと
1994	33号	33-39	塚崎正一郎 坪本好美	富山のいのくち村・椿三題
2015	53号	53-41	塚本周作	万葉集に載せられたつらつら椿と古瀬の山里のつらつら椿
2016	54号	54-21	塚本周作	東大寺修二会 (お水取り) と薬師寺修二会 (花会式) を彩る椿の造花
1975	14号	14-21	辻 昇	古都のつばきの思い出に
1980	19号	19-19	辻 昇	椿の鉢仕立てのすすめ
2018	56号	56-12	辻川公子	御殿場椿の会「椿の実油搾り体験」
1994	33号	33-19	椿野 博	城崎温泉周辺のつばき
2008	47号	47-16	堤 徹志	英国で紹介された 「クリスマスの花」
1995	34号	34-18	天田 巖	幼な友達 ・ 椿
1996	35号	35-23	天田 巖	ツバキ随想二題
1997	36号	36-16	天田 巖	南十字星に椿を思う
1998	37号	37-25	天田 巖	椿かぐら姫
2000	39号	39-14	天田 巖	遥かなる椿 ポルトガルに古き椿を訪ねて
2001	40号	40-35	天田 巖	椿草紙
1979	18号	18-16	天野 清	私の実生新花、 妙春について
2010	49号	49-13	田中 博昌	毛利呼子鳥と瀬戸つばきの里
2001	40号	40-9	田中孝幸	幻のツバキCamellia papuana Kan. Et Hat
2012	50号	50-7	田中孝幸	肥後サザンカ
2020	58号	58-4	田中孝幸	ワビスケについて
2021	59号	59-4	田中孝幸	ツバキと日本人
2013	51号	51-5	田中孝幸・鈴木和代	京都大学所蔵の幻の絵巻物「百色椿」
2008	47号	47-4	田中孝幸ほか	ハルサザンカの母親探し
2014	52号	52-8	田中秀明	「炉開き」の母系祖先種について
2015	53号	53-10	田中秀明	雪国の椿とチューリップ
1992	31号	31-41	田島名典	愛媛支部 発足に当って (支部)
1994	33号	33-14	田島明典	愛媛のツバキガイド
1998	37号	37-18	田島明典	伊予つばき 秀花選定の歴史
2001	40号	40-14	田島明典	ツバキに寄生するヒノキバヤドリギの大発生
1995	34号	34-14	田島明典	珍しい型の咲かずの椿
1977	16号	16-18	田辺 操、 三郎	詩 白 椿
1979	18号	18-8	田辺幾之助	鹿児島大学農学部構内のタイワンツバキ
1994	33号	33-16	田野雅美、加藤友昭	播州路・椿めぐり 「椿の発電所」
1992	31号	31-35	田邊幾之助	ハルサザンカとその周辺品種の実生記録から
1993	32号	32-3	田邊幾之助	鹿児島島の地物椿とその調査 (特集・各地のツバキ事情)
2001	40号	40-7	田邊幾之助	種子親がハルサザンカの実生はハルサザンカか
2007	46号	46-7	田邊幾之助 藤下典之	カメリア・ロサエフロラ (昭和50年、吉沢椿樹園) のCamellia属植物 花粉、
1983	22号	22-21	渡辺光夫	伊藤伊兵衛のこと ※ (必読)
1983	22号	22-22	渡辺光夫	古今百椿集くらべ
1990	29号	29-5	渡辺光夫	ツバキの散歩道
1992	31号	31-1	渡辺光夫	【百椿図】 (松平忠国 編) 解説

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1993	32号	32-20	渡辺光夫	大平さんとツバキ
1997	36号	36-3	渡辺光夫	百椿図見記
1999	38号	38-29	渡辺光夫	データベース事始
1997	36号	36-14	渡辺照悟	椿に夢をかける
1999	38号	38-6	渡辺博恭	奇跡の黄色ツバキ
2000	39号	39-6	渡辺博恭	私の接ぎ木研究 (その1)
2001	40号	40-6	渡辺博恭	ハルサザンカ笑顔とグランサムツバキの種間雑種
1999	38号	38-2	渡辺博恭	グランサムツバキの種間雑種 (1) (2)
1996	35号	35-9	土屋隆一	箱根で新しく見つかったワヒスケツバキ
1994	33号	33-37	土師 武	有楽幻想
1995	34号	34-8	土師 武	古伊万里の中の椿
1996	35号	35-11	土師 武	風姿椿伝
1971	10号	10-8	島崎久弥	花を自然の友として
1972	11号	11-11	島崎久弥	椿の輸入を試みる人々の為に
1977	16号	16-20	島崎正夫	乙和の椿 (咲かすの椿)
1979	18号	18-5	島崎正夫	挿し接ぎのすすめ
2016	54号	54-8	島田幸晴	山中福田のツバキの現状
2019	57号	57-21	東博史	「椿」を通じた日本とポルトガルとの友好関係
2014	52号	52-11	東蓉子	椿への憧憬
2018	56号	56-8	湯畑重信	千成り椿の一本
1991	30号	30-3	当協会編	全会員が「椿一鉢」を育てましょう (事務局)
1979	18号	18-14	藤井嘉孝	追跡、金魚椿
1969	7号	7-11	藤井嘉孝	柎 葉 椿
2000	39号	39-35	藤井静男	全国椿サミット・伊豆大島大会へどうぞ
2001	40号	40-42	藤井静男	伊豆大島椿まつり ・ 世界の椿展
2006	45号	45-29	藤井静夫	伊豆大島大会開催のご案内
1995	34号	34-27	藤井和子	講習生の報告
2014	52号	52-10	藤下典之	ツバキ科植物の花粉を、貪り食うクロツヤバエのウジ病害虫対策
2015	53号	53-23	藤下典之	梅雨時前後に花開くナツツバキ属及びヒメツバキ属植物とクロツヤバエー2009年からの懐古録とこれからの取り組みー
2015	53号	53-24	藤下典之	四国の阿波・讃岐・伊予の椿でクロツヤバエのウジ初捕獲
2016	54号	54-18	藤下典之	ツバキ仲間の花粉を食害するクロツヤバエの食材選び、その1 ヤブツバキCamellia japonica大好き、しかし、交雑可能な間柄にあるチャC.sinensisは敬遠か？
2017	55号	55-19	藤下典之	ナツツバキ属植物との新たな出会い (クロツヤバエの調査報告)、沙羅の寺、應聖寺 (関西花の寺第八番) を訪ねました
1977	16号	16-22	藤掛陽一郎	サザンカを訪ねて
1978	17号	17-18	藤掛陽一郎	ツバキ散歩
1982	21号	21-11	藤掛陽一郎	椿の開花期について
2007	46号	46-3	藤原 昭	第18回全国椿サミット奈良大会へのお誘い
2004	43号	43-5	藤枝国光	ツバキの花の交配育種について
2008	47号	47-5	藤枝国光	耳納山地北麓のサザンカ
1975	14号	14-22	藤森重紀	記憶の山椿
1976	15号	15-25	藤森重紀	冬の椿
2007	46号	46-19	藤森重紀	かたみの椿
2008	47号	47-19	藤森重紀	小友の椿について
2002	41号	41-11	藤本弥一郎	フラバ・クックフォンエンシスを育てて
2004	43号	43-12	藤本弥一郎	江戸椿とその実生について
2005	44号	44-12	藤本弥一郎	ペットボトルを利用した夏の屋外の接木
2005	44号	44-9	藤本弥一郎	小型雑種椿の模様木仕立て(三つ編みの仕立て方)
2006	45号	45-13	藤本弥一郎	取り木(環状剥皮法)を見直しましょう
2019	57号	57-9	藤本力	椿の盆栽
2007	46号	46-17	那須野カリアンクラブ	佐野市出流原町「日の出」椿見学記
1979	18号	18-17	内村一郎	造園樹木としての椿について
1994	33号	33-24	内藤茂男	椿のふる里・伊豆大島だより
1992	31号	31-28	内野博司	飯能支部より
2013	51号	51-34	内野博司	茶の寒害とその対策
2016	54号	54-23	内野博司	サザンカの原生林を訪ねる旅に参加して
2020	58号	58-14	内野博司	ツバキ栽培と管理のポイント3
2020	58号	58-6	南本久子	数椿の事
2018	56号	56-4	楠牟禮正次	椿油の製法と製造に関する知識について
2005	44号	44-25	尼子純一郎	国際ツバキ協会理事会出席記
2018	56号	56-25	日原行隆	尾川武雄氏のご冥福を祈る

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2018	56号	56-15	日原行隆・福井元気	株式会社椿における椿油の自社規格・基準の紹介と国際規格の必要性への提言
2014	52号	52-23	日原行隆、福井元気	(参考資料) 椿油の規格・基準について
1983	22号	22-5	日高 保	交配によるチャの花の改良の試み
1986	25号	25-14	日高 保	チャの観賞植物としての利用 ◇ チャ特集 ◇
2001	40号	40-30	日本、国際ツバキ	ベトナムの黄花ツバキ シンポジウムへのお誘い
2009	48号	48-4	日本ツバキ協会理事会	法人設立の取組みについて
1984	23号	23-22	日本椿懇談会より	新花登録品種の発表 ◆〔梵天白〕記載方法サンプルに
2003	42号	42-3	入井、植村、中村恒、飯牟	草創期秘話 (座談会)
1971	10号	10-16	入井信行	ツバキの樹性と生育について
1963	3号	3-4	入井信行	ツバキの苗の買い方・どんな苗がよいか・そして小苗の育て方
1964	4号	4-10	入井信行	ツバキの冬越しについて
1966	6号	6-14	入井信行	椿花園皆川治助氏名鑑解説 (江戸椿 必読記)/初めて拝見ものです。/※カタログ昭和30年代頃のもの
1977	16号	16-4	入山謙三	アッカーマン博士の紹介
1979	18号	18-22	入山謙三	米国のアッカーマン家 ・ 訪問記
1980	19号	19-16	入山謙三、 正恵	バーバラ夫人の仕事の概要
1981	20号	20-13	入山謙三、 正恵	(ミセス・キティ) の日本再訪問①
1980	19号	19-17	入山謙三、 沢前田	椿夫人BarbaraButlerのブライト病便り
1978	17号	17-6	入山謙三、 立石新吉	ツバキの栽培品種と原種の葉の解剖学的研究、特にその類縁関係について
1976	15号	15-37	農林中金	昭和50年春の農林中金が主催 又、共催した全国各地の ツバキ展
2001	40号	40-33	梅原伸子	はじめての椿は衣通姫
2014	52号	52-12	梅原伸子	ツバキに魅せられて
1982	21号	21-3	萩屋 薫	金花茶の花粉を用いた 種間交配試験(予報)
1984	23号	23-3	萩屋 薫	高温処理による八重咲きツバキの稔性の向上
1986	25号	25-1	萩屋 薫	【茶々姫】 (ツバキ×チャの雑種) 解説
1987	26号	26-2	萩屋 薫	会長 巻頭言
1988	27号	27-12	萩屋 薫	イタリアのツバキ見聞録
1988	27号	27-4	萩屋 薫	種間雑種による鉢向きツバキの育種
1989	28号	28-14	萩屋 薫	芳香性のツバキの育種 ◇ 香りのツバキ特集◇
1990	29号	29-14	萩屋 薫	これからのツバキ ◇ ミニ・ツバキ特集 ◇
1990	29号	29-2	萩屋 薫	花は半開 (巻頭言)
1991	30号	30-4	萩屋 薫	会長職を二期はたして
1992	31号	31-3	萩屋 薫	草創時代の思い出を語る (予報)
1997	36号	36-24	萩屋 薫	安藤芳顕氏を悼む
1998	37号	37-5	萩屋 薫	カナダ・ツバキ紀行
2000	39号	39-5	萩屋 薫	日本人のツバキに対する好み
1966	6号	6-9	萩屋 薫	ユキツバキの生理的特徴と栽培
1972	11号	11-2	萩屋 薫	ツバキの種間雑種の研究
1979	18号	18-7	萩屋 薫	故カッター博士遺作の芳香ツバキ・「薫風」
1980	19号	19-2	萩屋 薫	浙江紅花油茶について
1986	25号	25-2	萩屋 薫	会長 巻頭言
1990	29号	29-1	萩屋 薫	【若菜姫】 (種間雑種)(サルウィン×ヤブツバキ)×ヒメザッカ 解説
2004	43号	43-14	萩屋 薫	椿と園芸療法
2006	45号	45-20	萩屋 薫	ツバキと刀(1984年ICS誌より)
1981	20号	20-4	萩屋 薫、 甲 政治	ユキツバキチャの自然雑種・「炉開き」
1983	22号	22-4	萩屋 薫、 佐藤悟	ツバキ八重咲き品種の不結実機構の研究
1982	21号	21-4	萩屋 薫、 後藤 豊、 野俣 伴	新しく中国から導入された ツバキ属の染色体数
1978	17号	17-10	萩原 実	交配事始
2015	53号	53-14	白旗昇一	気仙沼大島の藪ツバキ
1996	35号	35-33	白石勝洋	椿の里 久留米
1998	37号	37-2	箱田 桐野	ベトナムのツバキ属原種 ムラウチイ。ギルバティ。ルブリフロラ。(口絵写真)
1998	37号	37-3	箱田 桐野	ハイドウン。ペテロッティ。クラシフィラ。ロスマニイ。パーチェ五室。(ベトナムのツバキ属原種)
2010	49号	49-4	箱田直紀	日本ツバキ協会当面の課題と将来の夢に向けて
1984	23号	23-2	箱田直紀	口絵 走査電子顕微鏡で見るツバキ属の花粉
1985	24号	24-2	箱田直紀	口絵 走査電子顕微鏡で見るツバキ属の気孔の素顔
1987	26号	26-12	箱田直紀	サザンカの現在品種と品種名の整理 ◇サザンカ特集◇
1993	32号	32-1	箱田直紀	【六歌仙】 (ルザッカ群) 解説
2008	47号	47-6	箱田直紀	ベトナムのツバキに関する中間報告 (原種) 品種名 A ピクエチアーナ、B ブーダンエンシス、C ドル...

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2012	50号	50-2	箱田直紀	品種登録制度の実施に向けて
2013	51号	51-2	箱田直紀	新たな年を迎えて
2014	52号	52-2	箱田直紀	巻頭言 ツバキ関連資料室の開設に向けて
2015	53号	53-2	箱田直紀	巻頭言「新々図鑑(仮称)」発行に向けて準備を始めましょう
2019	57号	57-2	箱田直紀	巻頭言 日本ツバキ協会の創始者 石井勇義に学ぶ
2007	46号	46-26	発行担当	仮称「会員連絡簿」の発行について
1998	37号	37-27	飯牟礼	「ミミズの片言」
1998	37号	37-31	飯牟礼	亡き竹馬の友におくる言葉
1999	38号	38-32	飯牟礼	「猛犬に注意」
2000	39号	39-11	飯牟礼	烏鷲の争い
2001	40号	40-19	飯牟礼	やはり此処はパラダイス
2002	41号	41-21	飯牟礼	江戸椿の魅力とその探究
1991	30号	30-21	飯牟礼こう	現代の椿歌
1994	33号	33-41	飯牟礼こう	手創りのおくりもの
1995	34号	34-26	飯牟礼こう	慾と道連れ
1996	35号	35-8	飯牟礼こう	「解体屋」「難民キャンプ」
1984	23号	23-20	飯牟礼五郎	中国のジャポニカ
1986	25号	25-3	飯牟礼五郎	「江戸椿」日本の古典的な園芸品種
1994	33号	33-4	飯牟礼五郎	黄色いツバキをめぐる新しい国際文化交流中国・国際金花茶 シンポジウム
1994	33号	33-44	飯牟礼五郎	畏友・前宮崎市長 ツバキを愛した故長友貞蔵さんを偲ぶ
1994	33号	33-45	飯牟礼五郎	夢・うつつ・真夏のツバキ展
1997	36号	36-25	飯牟礼五郎	名誉会員 安藤芳顕さんを偲ぶ
2004	43号	43-9	飯牟礼五郎	協会が直面している諸問題
2005	44号	44-4	飯牟礼五郎	この一年を顧みて
2006	45号	45-5	飯牟礼五郎	ツバキと共に過ごした、四十年を顧みて
2007	46号	46-23	飯牟礼五郎	植村猶行さんを偲ぶ
2004	43号	43-2	比留木忠治	西海のカトリック教会堂とツバキ紋様
2005	44号	44-3	比留木忠治	か-口絵 椿聖母マリア像-殉教の祈り
2006	45号	45-9	比留木忠治	「NPO五島の椿と自然を守る会」の活動と将来計画
2007	46号	46-20	比留木忠治	玉之浦か玉の浦
2008	47号	47-9	比留木忠治	ツバキ花腐病研究の父「原摂祐翁」
2009	48号	48-11	比留木忠治	玉之浦研究の現状
2010	49号	49-10	比留木忠治	第一回国際椿シンポジウムを開催します
2012	50号	50-8	比留木忠治	第1回ICS国際椿シンポジウム五島大会報告
2013	51号	51-3	比留木忠治	ツバキ・ロード構築の提唱
2014	52号	52-9	比留木忠治	ツバキ花腐れ病研究の現状
2015	53号	53-34	比留木忠治	カナダで咲いた日本のツバキ
2016	54号	54-17	比留木忠治	ツバキの花腐れ病研究の現状-2 [続編]
2020	58号	58-2	比留木忠治	酷寒のカナダに五十年・回顧(1)
2021	59号	59-3	比留木忠治	酷寒のカナダに五十年・回顧(2)
2001	40号	40-21	樋口勝彦	原生椿「玄海淡雪」のこと
2016	54号	54-20	樋口勝彦	シドニーの椿事情散見
2019	57号	57-12	樋野俊晴	島根・美保関七類の「ヤブ椿・盆栽展」について
1991	30号	30-15	尾原正信	紀州の椿事情
2013	51号	51-7	尾崎行生	玉之浦に学ぶ
2012	50号	50-16	尾崎重美	香川の椿と支部の活動について
2013	51号	51-12	尾崎重美	つばきひとひらから
1973	12号	12-8	尾川武雄	伊豆大島のツバキを見つめて
1975	14号	14-17	尾川武雄	伊豆七島・三宅島のツバキ
1980	19号	19-8	尾川武雄	新しい香りツバキ便り
1981	20号	20-19	尾川武雄	椿の伊豆大島が米国カメラ・ソサエティの名誉会員に推される
1989	28号	28-16	尾川武雄	香りツバキの観察から
1990	29号	29-15	尾川武雄	交配ミニツバキの二世、三世
1992	31号	31-21	尾川武雄	油科用ツバキについて
1993	32号	32-12	尾川武雄	能登半島珠州のツバキ
1994	33号	33-17	尾川武雄	相生発電所のツバキ見学印象記
1995	34号	34-13	尾川武雄	小浜市の「八百比丘尼」の伝説のふるさと
1996	35号	35-10	尾川武雄	樹齢300年を越す新しいワビスケツバキ
1998	37号	37-24	尾川武雄	北限ツバキの旅
2001	40号	40-4	尾川武雄	伊豆大島のツバキ
2005	44号	44-17	尾川武雄	栃木のツバキ
2007	46号	46-10	尾川武雄	「ワビ芯ツバキ」の不思議
1979	18号	18-3	尾川武雄	ワビスケツバキのルーツ
1971	10号	10-12	氷室花子	ツバキに寄せて

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1963	3号	3-2	氷室花子	好きな花達
1964	4号	4-17	氷室花子	新花を待つ心
1983	22号	22-13	氷室捷爾	短歌 雪月花
1980	19号	19-22	浜名徳永	千葉の新品種「紅泉」発見の経緯に就いて
1980	19号	19-3	富樫 誠	グランサムツバキの自生地について
1979	18号	18-11	富田達彦 訳	140年前のドイツのツバキの本
1961	創刊号	1-5	武井近三郎	南国土佐のツバキ公園 (牧野植物園)
1962	2号	2-13	武井近三郎	ツバキの切り花売り
1966	6号	6-12	武井近三郎	五台山のツバキ
2012	50号	50-21	武藤精宏	「サカキ」物語
1985	24号	24-11	服部直道	実生のレポート
1997	36号	36-18	平井湊晨	ニュージーランドの椿旅
1999	38号	38-31	平井湊晨	紅覆輪 (プリンス雅子)
2000	39号	39-22	平井湊晨	夏の夜の夢
2013	51号	51-13	平井湊晨	私の実生の椿
2013	51号	51-35	平井湊晨	金花美女 ICS中国楚雄大会に参加して
2006	45号	45-18	平井湊晨	安達瞳子名誉会長 (追悼)
2008	47号	47-15	平井湊晨	ファルマスの夜 IOCコーンウォール大会を詠む
2015	53号	53-36	平山梅夫	椿花への思い
2018	56号	56-11	平良治男	ツバキ油の回収率 (歩留まり) 向上を考える
2020	58号	58-13	柄戸正	2019大船渡市椿植樹会に参加して
2018	56号	56-6	片岡育真	この先100年続く椿畑を目指して
2008	47号	47-28	編集	当協会 2007年度業務概況報告
1997	36号	36-29	編集局	ICS・ニュース、寄贈図書一覧表。新設・会員向けの「通信バザール」
1997	36号	36-30	編集局	当協会1997年度通常総会次第
1965	5号	5-14	編集局	日本ツバキ協会会則。 新入会員紹介。 ツバキ協会だより。
2002	41号	41-23	編集局 季節のたより	当協会 2002年度通常 報告
2009	48号	48-28	編集担当者 高橋潤	
1976	15号	15-41	編集部	発表項目抄録
1976	15号	15-42	編集部	会誌原稿募集 ・ 編集後記
1976	15号	15-5	編集部	各地のツバキ展のお知らせ
1977	16号	16-29	編集部	昭和年度 各地のツバキ会の会誌と 会報発表項目の抄録
1978	17号	17-28	編集部	安房椿盆栽研究会 (各地のツバキ会紹介)
1981	20号	20-26	編集部	1980年 全国各地の椿会、会誌、会報の抄録
1984	23号	23-21	編集部	支部だより (三河 広島 町田)
1993	32号	32-27	編集部	「季節のたより」
1994	33号	33-21	編集部	銘花 「後瀬」 「八百姫椿」
1994	33号	33-47	編集部	副会長の桐野秋豊さん 平成●年度の園芸文化賞を受賞植村猶行監事
1994	33号	33-50	編集部	園芸文化協会功労表彰を受ける
1994	33号	33-51	編集部	寄贈図書一覧表。 季節のたより。
1995	34号	34-33	編集部	奥野祐子さん高額の記念切手を寄付
1995	34号	34-34	編集部	台風12号 伊豆大島を直撃。 当協会1995年度通常総会。
1999	38号	38-35	編集部	寄贈 図書一覧表。 当協会1999年度通常総会次第。
1999	38号	38-38	編集部	★社団法人化に向けて始動★
1999	38号	38-39	編集部	通信バザール投稿見本。 通信バザール原稿用紙。
2000	39号	39-37	編集部	寄贈 図書一覧表。 通信バザール投稿見本、通信バザール原稿用紙。
2000	39号	39-38	編集部	広告、 あとがき
2010	49号	49-21	編集部	岸川慎一郎氏に国際ツバキ協会会長賞
1976	15号	15-22	豊田愛子	五鉢の椿
1978	17号	17-11	豊田修平	J・ヌチオ氏の講演を聴いて (交配について)
1978	17号	17-20	豊田修平	チャドクガの幼虫退治に私のアイデア
1991	30号	30-25	豊田美根子	春時雨五色散椿花見人
1994	33号	33-27	豊田由起子	ツバキ紀行
1974	13号	13-17	豊島 愛子	椿ところどころ
1964	4号	4-15	北村四郎	サルウインツバキ (ツバキ通信)
1975	14号	14-29	牧野光六	コレクト・マニアの記
1976	15号	15-19	牧野光六	ユキツバキの紋章
2001	40号	40-13	牧野洋二	古文献に見る利島の椿油産業
2009	48号	48-22	牧野洋二	椿油の歴史
1991	30号	30-28	堀 泉	日本ツバキ協会北海道支部設立に寄せて
1975	14号	14-28	堀 牧野 大田	富山県のツバキ
2013	51号	51-18	堀泉	とにかく、椿が大好きです!
1963	3号	3-23	末川幸子	椿と私

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2008	47号	47-21	末包 正	椿とのかかわり
2009	48号	48-3	末包 正	カラー口絵 椿小品盆栽
2010	49号	49-2	末包 正	カラー口絵 椿小品盆栽 (一楽、紅小雀など)
1969	7号	7-8	箕田中三	屋久島のリンゴツバキ (★ ツバキあちこち)
1966	6号	6-4	名花中の名花	第五回 国際ツバキまつり
1999	38号	38-11	名坂八千子	「椿名鑑を祝ひて」
2000	39号	39-23	名坂八千子	古文書に咲く花
2001	40号	40-36	名坂八千子	『椿草紙』 に捧ぐ
1964	4号	4-9	茂沢隆之助	ツバキの挿し木の問題点
2005	44号	44-18	茂木徳造	群馬の椿 名所 名木調査概要
1989	28号	28-10	木川夕鳥	『島 椿』
1990	29号	29-11	木川夕鳥	椿の俳句
1994	33号	33-48	木川夕鳥	椿名の俳句
2010	49号	49-16	木全 典子	スプーン1杯の椿油で頭皮の乾燥対策を
1999	38号	38-27	木全典子	もっと知って欲しい、ツバキ油の良さ
2001	40号	40-25	木全典子	環境省 巨樹 巨木林フォローアップ調査について
2008	47号	47-20	木全典子	椿という色
2015	53号	53-39	木全典子	冬は椿油で乾燥肌を守るスキンケアを
2018	56号	56-13	木全典子	奈良・平安時代の椿油の生産と利用
1994	33号	33-18	木村 勝	京都府加悦の 「ツバキまつり」 を訪ねて
1992	31号	31-12	木村 智	「世界のツバキ展」について!!
1996	35号	35-32	木村文子	私の好きな椿
1999	38号	38-26	木村文子	村おこしとして椿 (井口村)
1997	36号	36-22	木村文瞳	灰の効用
1998	37号	37-28	木村文瞳	つばきに対する意識調査
2000	39号	39-28	木村文瞳	雪に包まれた 「中尊寺」 を訪ねて
2001	40号	40-20	木村文瞳	いけ花における余白 日本人の美意識
2002	41号	41-13	木村文瞳	七草粥 にみる中国の椿呪力
2001	40号	40-15	木滝 優	チャドクガ。どうされていますか 皆さん
1994	33号	33-13	木本秀之	眺望絶佳の景勝地にある椿自然園
2015	53号	53-5	門脇雅敏	北国の椿事情について
1976	15号	15-10	野口浩太郎	私のツバキ研究 (1) ヒヨバイとその被害について (2) 私の疑問と経験 (土と施肥) (3) 薬剤を用いない椿の葉の病気防除 (4) 椿の品種改良についての提言
1978	17号	17-19	野口浩太郎	太郎庵椿日記
1977	16号	16-7	野口浩太郎 昭子	接木ハウスの試作
1993	32号	32-18	野口志郎	椿の遺産
2002	41号	41-22	野口慎一	江戸椿復活研究会に参加して
2004	43号	43-6	野口慎一	行方不明の椿たち
2005	44号	44-13	野口慎一	「椿とSOD病」について
2005	44号	44-6	野口慎一	三百年の謎 シンクリの国語学
2006	45号	45-10	野口慎一	雄心を考える
2007	46号	46-11	野口慎一	江戸椿研究会からお願い
2008	47号	47-12	野口慎一	朝鮮椿と熊谷椿
2010	49号	49-11	野口慎一	私の新花 (疑問)
2010	49号	49-20	野口慎一	佗助椿と学名
2010	49号	49-3	野口慎一	カラー口絵 私の新花 (疑問)
2012	50号	50-17	野口慎一	江戸椿研究会の活動について
2013	51号	51-14	野口慎一	絞りの酒中花、桃の酒中花
2014	52号	52-18	野口慎一	変わり葉椿の不思議
2015	53号	53-28	野口慎一	変化する西王母
2016	54号	54-15	野口慎一	発芽の様子・・・子葉の観察
2017	55号	55-18	野口慎一	実生葉の観察 毛茸のある品種
2018	56号	56-18	野口慎一	就眠運動するツバキ属の観察
2019	57号	57-15	野口慎一	紅唐子の調査報告
2020	58号	58-5	野口慎一	ツバキの奇品'金魚椿'に関する若干の知見
2021	59号	59-6	野口慎一	千葉せんようと千葉ちえの国語学
1986	25号	25-12	野口善弘	つばぎと精進
1994	33号	33-29	野村興兒	伝統の萩焼と椿の美しい萩市へどうぞ
2002	41号	41-4	野村興兒	全国椿サミットは萩大会へのご案内
2016	54号	54-9	野津重夫	八重垣神社の夫婦椿「連理の玉椿」について
1985	24号	24-7	野田卯一郎	椿の実生と新品種

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1986	25号	25-9	野田卯一郎	「玉の浦」の白覆輪を考える
1985	24号	24-17	野田卯一郎、太田次雄	式種(私の作った新花) (梵天白) (御来光) 金花茶の実生。 後記 載
1975	14号	14-18	矢内原ノリコ	ジャポニカ椿といけばな
1962	2号	2-9	矢野勤策	瀬戸内のツバキ
2012	50号	50-15	矢野芳春	本州西の端山口のつばき
2014	52号	52-4	矢野芳春	笠戸島のツバキ
2015	53号	53-40	矢野芳春	椿の実いろいろ
1993	32号	32-25	柳瀬貞男	源氏物語と椿
1994	33号	33-49	柳瀬貞男	三つの提案
1995	34号	34-22	柳瀬貞男	私のツバキの出逢い
1996	35号	35-29	柳瀬貞男	私の好きな椿 5種
1997	36号	36-11	柳瀬貞夫	高橋周桑の椿花の大幅と師匠速水御舟の名樹散椿
1980	19号	19-24	柳沢久生	安藤紋子について
1988	27号	27-13	揖斐史郎	時の流れ、一つの証左
1990	29号	29-4	揖斐史郎	岩屋神社の熊谷を見て
1994	33号	33-36	揖斐史郎	古陶志野とつばき二種
1995	34号	34-17	揖斐史郎	玄海灘とヤブツバキ
1996	35号	35-17	揖斐史郎	私達の北九州支部
1976	15号	15-12	有川智久	山陰のツバキ (1)
1977	16号	16-9	有川智久	急がれるウィルス対策
1979	18号	18-2	有川智久、尾川武雄	口絵 侘苺ツバキの色々
1964	4号	4-20	有滝竜雄	思いだすままに
2014	52号	52-19	来間清典	宮古島の椿油
2018	56号	56-10	来間清典	宮古島の椿
1992	31号	31-16	裏門謙一	生け垣エレジー
1993	32号	32-24	裏門謙一	会誌 `93` 物語
1995	34号	34-15	裏門謙一	千年椿下見紀行
1998	37号	37-19	裏門謙一	洋種 ツバキは神戸から
1973	12号	12-10	里見盈吉	日本ツバキ協会創設回顧談(※必読)
1974	13号	13-10	里見盈吉	椿・文学散歩
1963	3号	3-3	里見盈吉	美しいツバキの品種とその選び方
1965	5号	5-10	里見盈吉	昆明の年間気象状況
1966	6号	6-6	里見盈吉	中国におけるツバキの参考書 (海外の名花)
1969	7号	7-17	里見盈吉	津山尚編著 日本の椿 (新刊紹介)
1970	8号	8-7	里見盈吉	キャプテン・ロウエス
1981	20号	20-5	立花吉茂	近畿の野生ツバキの調査
2001	40号	40-3	立花吉茂	野生ツバキのルーツ探索 (花園大学客員教授)
2008	47号	47-8	立石信峰ほか	ヤブツバキ枝変わり覆輪品種「玉の浦」の起源を求めて
1986	25号	25-6	林彦三	知多の銘椿を尋ねて
2015	53号	53-12	林田勲	三面椿よもやま話
2017	55号	55-4	林田勲	三面椿の現状と保護対策
1963	3号	3-8	林田恒甫	美しい肥後ツバキの基準
2014	52号	52-24	鈴木興治	伊東市小室山椿園を訪ねて
1994	33号	33-9	鈴木幸子	椿の旅館と椿のお土産物の店について
2007	46号	46-13	鈴木幸子	初めて咲いた小笠原ムニンヒメツバキ (ツバキ属)
2006	45号	45-14	鈴木国光	椿の千重咲きは交響曲
2009	48号	48-20	鈴木国光	3つのお願い
2013	51号	51-28	鈴木国光	短歌と俳句 作曲の試み
2014	52号	52-17	鈴木国光	侘助椿の花色
2021	59号	59-17	鈴木国光	ワビスケ椿雑観
1976	15号	15-30	鈴木治夫	② 静岡県ツバキ同好会 (会長) (編集部)
1970	8号	8-10	鈴木治夫	下田のツバキ展 (会長)
2019	57号	57-22	鈴木博文	町田市薬師池公園「椿園」の「品種確認」と「名札付け」ボランティア
1995	34号	34-23	鈴木敏子	椿の思い出
1977	16号	16-2	鈴木平八郎	口絵 ツバキの切手
1977	16号	16-5	鈴木平八郎	ツバキの切手
1979	18号	18-10	鈴木平八郎	ツバキのある風景スタンプ
1980	19号	19-12	鈴木平八郎	国立図書館とつばき
1982	21号	21-21	鈴木平八郎	本草書の中にみるツバキ (国立図書館の蔵書から)
1983	22号	22-1	鈴木平八郎	【椿花百種】 「吉沢雪苔 画」 解説
1983	22号	22-24	鈴木平八郎	古来椿名寄とその周辺
1983	22号	22-25	鈴木平八郎	ツバキの古文献勉強会
1984	23号	23-14	鈴木平八郎	古書展にて
1985	24号	24-4	鈴木平八郎	ケンペルと日本の椿

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
1992	31号	31-6	鈴木平八郎	ツバキの葉
1998	37号	37-7	鈴木平八郎	花のエロス
1981	20号	20-25	鈴木平八郎	日本ツバキ協会会誌「」No.1～20記事索引
1996	35号	35-28	鈴木利男	私の好きな椿あれこれ
2007	46号	46-8	鈴木和代	「百椿集」について
2008	47号	47-11	鈴木和代	百椿集について(その2)
2009	48号	48-12	鈴木和代	百椿集について その3
2018	56号	56-20	鈴木和代	夏泊半島の椿山を訪ねて
1992	31号	31-31	和田宏郷	椿一鉢を目標に
2010	49号	49-15	脇川 紘子	私と椿のかかわり
2015	53号	53-7	傳法谷頭	ツバキ自生北限地帯
2013	51号	51-10	崔泳益	韓国で日本の椿ふやしたい
2005	44号	44-19	廣井道頭	「利島の椿」が「秋保工芸の里」匠の職人て出会う 「利島椿」工芸品の紹介
1986	25号	25-16	淵之上康元	チャを片親としたCamellia属の種間交雑に関する研究
2017	55号	55-7	澤田辰雄	小浜の椿「巨樹・古木」について
1990	29号	29-13	鄧 暁安	中国産金花茶グループの分布とその特徴
2004	43号	43-17	彪 宣宗	「椿」は漢字?? 国字
2006	45号	45-17	彪 宣宗	万葉集の椿
1969	7号	7-2		写真ページ (第14回ツバキ展出品花)
1969	7号	7-3		唐子咲二題 I (京唐子、紅唐子) 縦紋り II (無類紋 天人松島 抜筆)
1969	7号	7-4		肥後椿 III (朝顔 不二) 白玉紋 IV (白玉紋)
1969	7号	7-5		見学会 V (伊豆の大島)(中山邸鉢植え椿)
1969	7号	7-6		展示会 VI (第13回椿展) (第14回椿展)
1970	8号	8-1		【ブッタ】 (写真白黒) 解説/出羽大輪。 見驚
1970	8号	8-2		
1970	8号	8-3		オーストリア・メルボルンつばきの集い。講習会スナップ。
1970	9号	9-1		【ビル・デ・ナイト】 (洋種) 解説
1970	9号	9-9		写真頁 秋の花 サザンカの品種、名木めぐり
1971	10号	10-1		【孔雀ツバキ】 (カラ表紙) 解説
1971	10号	10-17		(江戸椿(新撰椿花集)品種の考察)
1973	12号	12-21		全国各地のツバキ展のお知らせ
1974	13号	13-3		口絵・久留米ツバキ
1975	14号	14-2		富山県の人気ツバキ六品種
1975	14号	14-37		各地のツバキ会情報
1975	14号	14-38		原稿募集・編集後記
1976	15号	15-31		③ 肥後つばき愛好会 (編集部)
1976	15号	15-33		④ 三重椿協会(編集部)
1976	15号	15-40		昭和年度・各地のツバキ会の会誌と会報 (椿の図書案内)
1977	16号	16-30		会誌原稿の募集要項。 編集後記。
1978	17号	17-3		編集部 口絵 三越ツバキ展
1978	17号	17-31		次号会誌原稿募集要領
1979	18号	18-31		次号原稿募集要項。 編集後記。
1980	19号	19-31		次号原稿募集要項。 編集後記。
1982	21号	21-1		【王冠】 肥後椿 (株改良園 提供) 解説
1983	22号	22-26		1982年度の足跡。 役員と担当部門。椿21号 正誤表
1989	28号	28-1		【攸県油茶】 (原産地 中国 湖南省) 解説
1992	31号	31-46		椿サミット案内。 寄贈図書一覧表。
1993	32号	32-13		津山 尚さん ☆ 「名誉会員のご紹介」/中村恒雄
1993	32号	32-14		鈴木平八郎さん/溪口早苗。横山三郎さん/桐野秋豊
1993	32号	32-15		大平一利さん/飯牟禮五郎。 小原謹治さん/中村恒雄
1993	32号	32-16		大伴幸子さん/飯牟禮こう。 塚本洋太郎さん/上本俊平
1993	32号	32-17		渡辺 武さん/桐野秋豊。 安藤芳頭さん/飯牟禮五郎
1995	34号	34-1		【奥郷の寒椿】 (三重県菟野町) 解説
1996	35号	35-1		【椿花譜絵巻】 (岸川氏蔵) 解説
1997	36号	36-28		阿波の銘椿紹介
1998	37号	37-8		欧米椿巡遊
2000		39-34		
1964	4号	4-13		輸入されたツバキ品種
1964	4号	4-2		花の文化展(三越)・肥後つばき展(熊本鶴屋デ)
1964	4号	4-23		協会だより
1964	4号	4-3		第10回ツバキ開かる(三越)
1964	4号	4-4		ツバキ見て歩き(氷室邸)(大船フ・セ)
2001	40号	40-1		パトナム・ラオ国境のツバキ属新種 解説
2001	40号	40-41		第12回全国椿サミット呉大会の開催要項 (案)



発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2001	40号	40-43		ペテロッティ 苗木注文者のお知らせ
2002	41号	41-1		【旭光冠】 (肥後椿) 解説
2004	43号	43-1		【一枚がわり】 (西王母×関戸太郎庵)
2005	44号	44-2		カー口絵 ニューージーランドの椿
2006	45号	45-1		【フォル・カリア・ジョ】 (メルボル)
2006	45号	45-3		ICSメルボルン大会、 NZ椿旅
2008	47号	47-25		ツバキ・サザンカをシンボルフラワーとする市町村調査についてのお願 い
2009	48号	48-2		カラー口絵 「最新日本ツバキ図鑑」の印刷見本
2010	49号	49-1		【南蛮紅】 画：永野達代、鳥瞰図作家
2010	49号	49-5		国際ツバキ協会「優秀つばき園」への招待
1965	5号	5-2		カラー名花選
1965	5号	5-3		口絵 三越ツバキ展、花の文化展、ツバキ協会総会、国際、ツバキまつ り
1965	5号	5-4		展覧会だより 京都、香川、熊本、
1965	5号	5-5		ツバキずいひつ
1965	5号	5-7		写真 車咲き四種。 唐子咲き二種。
1965	5号	5-8		写真 中京の名花。 アメリカのツバキ。
2012	50号	50-1		表紙の絵「安達」(小門廣)
2012	50号	50-11		誌上賀詞交換
2012	50号	50-24		雪椿を訪ねる旅
2012	50号	50-25		全国各地のツバキ展
2012	50号	50-26		2011年の寄贈報告
2013	51号	51-1		表紙「小色紙椿絵」から。岸川慎一郎氏所蔵
2013	51号	51-17		誌上賀詞交換
2013	51号	51-37		季節の便り
2013	51号	51-38		全国各地のツバキ展
2014	52号	52-1		表紙「貝絵香合」作 東蓉子 写真撮影 高野末男
2014	52号	52-22		賀詞交換
2014	52号	52-25		季節の便り
2015	53号	53-1		表紙「古金蘭」二口善雄
2015	53号	53-27		賀詞交換
2015	53号	53-4		特集・北国の椿
2015	53号	53-47		椿の開花情報
2015	53号	53-48		季節の便り
2015	53号	53-49		2015年度事業計画
2015	53号	53-50		全国各地のツバキ展
2015	53号	53-51		編集後記
2016	54号	54-1		表紙「光源氏」角田葉子
2016	54号	54-16		賀詞交換
2016	54号	54-24		季節の便り
2016	54号	54-25		2016年度(平成28年度)事業計画(案)
2016	54号	54-26		28年度春の鑑賞会「京都の椿を訪ねる旅」ご案内
2016	54号	54-27		日本ツバキ協会への寄贈図書ほか
2016	54号	54-28		全国各地のツバキ展
2016	54号	54-29		編集後記
2016	54号	54-30		「特集 各地の古木、銘椿」
2017	55号	55-1		表紙「ヤブツバキの葉の化石」 大島公園椿資料館
2017	55号	55-15		賀詞交換
2017	55号	55-22		季節の便り
2017	55号	55-23		2017年度(平成29年度)事業計画(案)
2017	55号	55-24		日本ツバキ協会への寄贈図書ほか
2017	55号	55-25		全国各地のツバキ展
2017	55号	55-26		編集後記
2018	56号	56-1		表紙 東大寺南院の「さざんかつばき」
2018	56号	56-16		賀詞交換
2018	56号	56-28		2018年度(平成30年度)事業計画(案)
2018	56号	56-29		日本ツバキ協会への寄贈図書ほか
2018	56号	56-3		特集 椿油
2018	56号	56-30		全国各地のツバキ展
2018	56号	56-31		季節の便り
2018	56号	56-32		編集後記

発行年	号数	記事整理番号	執筆者	題名
2019	57号	57-1		表紙 つばき盆栽「月の輪」
2019	57号	57-14		賀詞交換
2019	57号	57-4		特集 椿盆栽
2020	58号	58-1		表紙 日本画「白椿・窓の月」
2020	58号	58-11		賀詞交換
2020	58号	58-16		全国各地のツバキ展
2020	58号	58-17		日本ツバキ協会への寄贈図書ほか
2020	58号	58-18		季節の便り
2020	58号	58-19		編集後記
2020	58号	58-9		椿の俳句
2021	59号	59-1		表紙 「加賀の名月」
2021	59号	59-16		賀詞交換
2021	59号	59-24		高岡つばき愛好会が「北日本新聞地域社会賞」を受賞
2021	59号	59-25		ニューアルバム「大船渡物語」
2021	59号	59-28		2021年度協会の主な予定
2021	59号	59-29		全国各地のツバキ展
2021	59号	59-30		日本ツバキ協会への寄贈図書ほか
2021	59号	59-31		季節の便り
2021	59号	59-32		登録椿の写真集について
2021	59号	59-33		お詫びと訂正
2021	59号	59-34		編集後記
1966	6号	6-13		ツバキずいひつ
1966	6号	6-16		ツバキをたずねて 安達潮花先生
1966	6号	6-18		ツバキ通信、私の希望、協会だより。
1966	6号	6-19		☆蜀茶(山茶の別名)
2022	60号	60-1		
				8号と9号は同一年度1970に発行されている
				注：49号発行の翌年度から会誌の発行が11月から1月になった。従って50号は2011年11月ではなく、2012年1月となった